

人 基山町は「ひと」が大きな誇りです。



基山町は「愛」が大きな恋人の聖地です。
I (愛)



出会い (i)

基山町は、たくさんの人が集う「出会い」のまちです。



第5次基山町総合計画 2016

kayama

アイが大きい基山町

～住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山の実現～



M 基山町のシンボル「基山」が大きな誇りです。

基山町は他よりちょっと



「アイ」が大きいまちです



+ idea

住民のみなさんのアイデアであらわれています。



基山PAは九州に向けての基山情報の発信基地です。

i - (information)

第5次基山町総合計画

新、基山構想・基本計画

アイが大きい基山町

～住む人にも訪れる人にも満足度 No.1 のまち基山の実現～

ごあいさつ



このたび、本町の平成28年度からの新たなまちづくりの展開に向けて、今後10年間のまちづくりの指針となる第5次基山町総合計画を策定いたしました。

今回策定した本計画では、これまでの基本理念「心豊かな人と人との関係づくり」「自然と共生したまちの魅力づくり」「みんなが進める協働のまちづくり」を継承しつつ、基山町の将来像を『「アイが大きい基山町」～住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山の実現～』としております。

本町の置かれた地理的利便性に加えて、恵まれた自然の豊かさや伝統・文化といった基山町ならではの魅力を大切に活かし、子どもから高齢者までのすべての人々が基山町に誇りをもち、互いに心を通わせ合うことができるまちづくりを進めていきます。また、基山町に訪れた人たちにも、心を込めたおもてなしをつくることで、「訪れる価値あるまち」としての魅力を高め、交流拠点として活力あるまちをめざしていきます。

そのためにも、将来像そのものをシティープロモーションとして展開し、あわせて、本町の魅力をさまざまな方向から発掘、創造し、町内外に発信することで、基山町のイメージを一致させ、新たな基山町のまちづくり戦略をおこなっていきます。

現在、本町においても少子高齢化や人口減少の進行が危惧されておりますが、今後の10年間で町民と行政が一体となり、「自分たちが基山の未来を動かしているという実感」を得ることのできる真の協働の10年にしていくことが重要ですので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、今回の策定にあたり、ご提言をいただきました総合計画審議会委員の皆様をはじめ、基山の知恵Cafeや意見交換会等において、ご意見ご協力をいただきました町民の皆様ならびに関係各位に心から感謝申し上げます。

平成28年2月

基山町長

小森 純一

■ 新、基山構想 (基本構想)

めざすまちの姿

1 基山町8つの強み	2
2 基山町がめざす将来像	4
3 新しい人口の考え方	6
4 町民とかなえる10年プロデュース	8
5 全体構想図	16
6 これまでの基山、これからの基山	18
7 今後の社会展望	22

■ 基本計画

1 自然+idea

(1) 土地利用	26
(2) まちなみ環境	28
(3) 集客拠点整備	30
(4) 交通基盤整備	32

2 教育+idea

(1) 学校教育	34
(2) 基山式まなび	36
(3) スポーツ	38
(4) 文化財の利活用	40

3 にぎわい+idea

(1) 農林業	42
(2) 工業	44
(3) 商業	46
(4) 観光	48
(5) 基山発	50

4 安心安全+idea

(1) 子育て支援	52
(2) 高齢者支援	54
(3) 障がい者(児)支援	56
(4) 健康・医療	58
(5) 防犯・防災	60

5 協働+idea

(1) まちの結束	62
(2) 人権・男女共同参画	64
(3) 情報公開	66
(4) 行財政	68

■ 参考資料

1 諮問文	72
2 審議会答申書	73
3 議案第17号	
第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画について	74
4 第5次基山町総合計画特別委員会審査報告書	75
5 基山町総合計画審議会条例	76
6 基山町総合計画審議会委員名簿	80
7 基山町総合計画の策定方針	81
8 基山町総合計画策定経過	84
9 ワークショップ報告書	87
10 目標指針	116

これまでの基本理念をそのまま継承し、基本構想を『新、基山構想』としています。

基本理念

心豊かな人と人との関係づくり

自然と共生したまちの魅力づくり

みんなが進める協働のまちづくり

新、基山構想

めざすまちの姿

- 1 基山町8つの強み
- 2 基山町がめざす将来像
- 3 新しい人口の考え方
- 4 町民とかなえる10年プロデュース
- 5 全体構想図
- 6 これまでの基山、これからの基山
- 7 今後の社会展望

基山町

基山町 8つの強み

今後の基山町の発展を考えると、まずは基山町ならではの基礎的特性(発展の可能性)を整理する必要があります。この特性を「基山町8つの強み」として、可能性に埋没させることなく活用し、現実のものとしていくために、積極的で戦略的な取組が必要です。



1 福岡都心から わずか20分の立地条件

基山町は、福岡県筑紫野市・小郡市に隣接する佐賀県の東の玄関口で、非常に立地に恵まれており、九州内交通の基幹となる国道3号やJR鹿児島本線、高速バス停など九州の陸上交通の要衝地です。



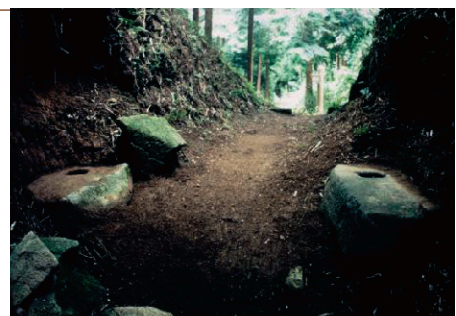
2 九州で最も集客力のある 基山パーキングエリア

九州自動車道で最も通行台数が多い筑紫野IC-鳥栖JCT間に位置し、同自動車道のPAの中では最も規模が大きく、高い集客力があります。平成19年から高速バスの乗り継ぎ拠点としての役割も果たしています。



3 日本に誇る 基肄(きい)城の歴史

基肄城跡は、天智4年(665年)に大野城跡(福岡県)とともに築かれた日本最古の本格的な「朝鮮式山城」です。歴史的・学術的価値が非常に高く、佐賀県内で初めて国の特別史跡に指定された日本を代表する史跡のひとつです。



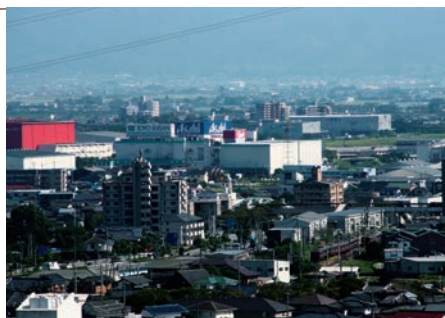
4 時代をリードする 優良企業の集まるまち

九州自動車道、国道3号の巨大物流拠点である立地を強みに、日本の明日を担う“ものづくり”の優良企業が集積。made in 基山を日本中にお届けしています。



5 15分圏内で全てがそろろう コンパクトシティ

住宅、店舗、病院など、生活に必要な機能がJR基山駅を中心とした徒歩15分圏内に全てそろっており、福岡都市圏と生活空間をともにしながら、緑豊かで質の高い暮らしを実現しています。



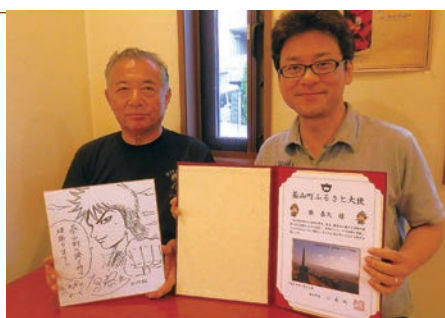
6 自然災害の少ない 安心安全拠点

極めて自然災害の少ない地域でありながらも、消防団の組織力や技能が高く、平成25年度には地域防災計画を見直すなど、自主防災に対する意識の高いまちです。



7 多彩な人材の宝庫

スポーツの盛んな基山町は、日本を代表する選手をこれまで数多く生み出してきました。また、町民栄誉賞を受賞された漫画家原泰久氏など文化芸能においても多彩な人材を多く輩出しているまちです。



8 県境を越えた 広域ネットワーク

高速道路の九州自動車道と大分・長崎自動車道が交わるクロスポイントに位置する利便性を活かし、福岡県久留米市・小郡市、佐賀県鳥栖市・基山町で「筑後川流域クロスロード協議会」を設置するなど、県境を越えた地域の一体的な発展を図っています。



2 基山町がめざす将来像

アイが大きい基山町

～住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山の実現～



これからの基山町は、基山の誇りである「アイ」を大切に、住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山をめざします。


基山町は、昔ながらのあたたかい地域性の残るまちです。これを最大限に生かし、これからの基山町は、今を生きるすべての世代に心をつくし、大切に育ててゆくことが重要です。基山町で暮らすステイタスは、基山町という大家族のもとで、心豊かに暮らせること。生まれたての赤ちゃんから、わんぱくに駆け回る子どもたち、基山の明日を担う可能性あふれる学生たち、懸命に働く大人たち、子どもとともに成長する子育て層、経験値溢れるシニア層、豊かな余暇を送る高齢者、そのすべての人々に互いが心を通わせ合うことのできるまちをめざします。


また、基山町に訪れた人たちにも、心を込めたおもてなしをつくし、住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山を実現していきます。

そのためにも、基山町の魅力を効果的に発信することで、基山町に暮らす人々が誇りを持ち、訪れる人を引きつけるシティプロモーションによってまちを総合的にプロデュースしていきます。

「アイが大きい基山町」とは？（誇りと想い）

基山町は他よりちょっと  が大きいまちです

 きざん 基山町のシンボル「基山」が大きな誇りです。

 基山町は「ひと」が大きな誇りです。

I (愛) 基山町は「愛」が大きな恋人の聖地です。

i - (information) 基山 PA は九州に向けての基山情報の発信基地です。

+ **i**dea で、住民のみなさんのアイデアであふれています。

基山町は、たくさんの人が集う「**出**会**い** (**i**)」のまちです。

基山町のシティプロモーション※

※「シティプロモーション」

まちの魅力をさまざまな方向から発掘、創造し、それらを地元だけではなく、町外の人たちとも共有し合うことによってまちそのものの価値や印象を高める取組。

将来像そのものをシティプロモーションとして展開し、町民の合い言葉として、広く町内外に浸透させる発信型のまちづくりを行います。

基山町がめざすまちの将来像「アイが大きい基山町」を合い言葉として共有することで、町内外の人が持つ基山町のイメージを一致させ、新たな基山町のまちづくり戦略をおこないます。

■基山のイメージカラーの設定：黄色（イエロー）

基山町の新しいイメージを表す色＝イメージカラーを「黄色」とし、まちの未来に新しい光をともし色として今後様々な広報や情報発信に役立てていきます。



[m10y100]

町のシンボル「きい」城に連想される色
美しい自然の象徴「ホタル」の光
キャンドルナイト／ライトアップの光
幸福をイメージさせる色
企業も一体となったまちのブランド化

黄色が持つ色の力

黄色は有彩色のなかで最も明るい色です。
知性を意味する色で人に喜びを与え、
幸福をイメージさせる色とされています。

3

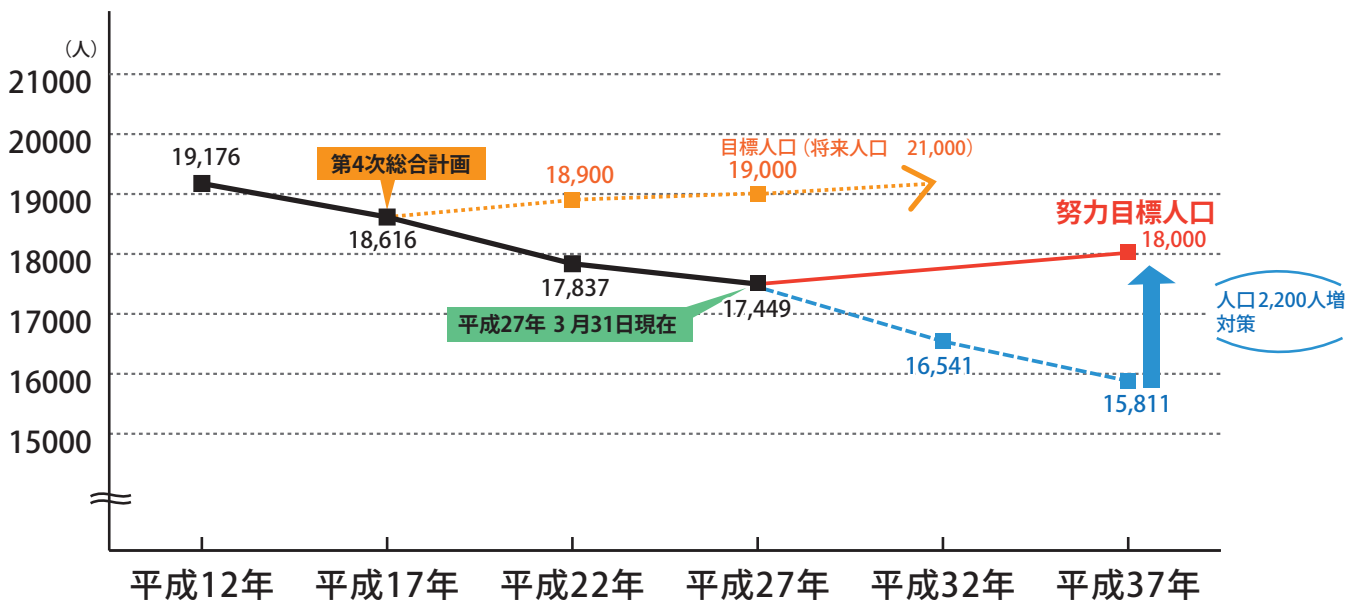
新しい人口の考え方

平成37(2025)年度の 努力目標人口1万8,000人

日本の総人口そのものが減少しているなか、全国の多くの市町村において今後の人口減少が予測されており、基山町における将来人口推計でも平成37年では15,811人と現状の17,634人(平成25年)と比べ、1,823人の減少が予測されます。

今後、更なる住環境の整備、教育・子育て環境の充実、福祉医療の充実、にぎわい拠点の創出などに取り組み、人口の定住化や居住機能の向上を図ることで、流出口を抑制していくことが必要となります。この厳しい社会情勢をふまえ、基山町では、この10年間を定住人口獲得の最後の機会と認識し、宅地開発を前提とした人口増対策に取り組み、平成37年の努力目標人口1万8,000人をめざします。

また、新しい人口の考え方として、町民の「活動量」が増えれば、まちの活力をさらに拡大させることができます。そのため本計画では、従来からの「定住人口」に加え、新たに「交流人口」、「まちづくり人口」という視点で基山町の人口を考え、人口減少社会の中において、より質の高い行財政運営に努めることで、住民満足度を高め、流出口の抑制、Uターン者などの受入れに積極的に取り組みます。



推計値/国立社会保障人口問題研究所

平成37(2025)年度の 新しい人口の目標

定住人口

努力目標人口
1万8,000人

「住んでみたい」を実現する基盤づくりや精神的な豊かさの向上に視点を置いた住民満足度の高いまちづくりを進めます。

交流人口

(平成25年度 約452万2,821人)
目標人口 500万人

「訪れる価値あるまち」としての魅力を高め、交流の起爆剤づくりを進めます。

観光入込み客数 + イベント参加者数 + 駅・高速バス停利用者数

まちづくり人口

(平成25年度 約5,643人)
目標人口 7,000人

定住または職業の有無に関わらず、町内で『社会的・生産的活動』を行っている人口をその対象ととらえます。従来の生産年齢人口などの区分にとらわれず、まちの活力を示す指標です。

基山の知恵くらぶ員数 + ボランティア団体など

※基山の知恵くらぶ:第5次総合計画策定にあたって町民ワークショップや地域別座談会などに参加し、知恵をしばっていただいた方を「基山の知恵くらぶ」員とし、カウントを行っています。

前述のシティプロモーションに加え、基山町総合戦略及び人口ビジョンなどにより、目標人口の実現をめざします。

4

町民とかなえる10年プロデュース

重点戦略

真の基山力（協働）を発揮する10年に。

[K-プロ]

～**き**やまが **か**わる 10年**プロ**デュース～
「Kiyama」 「Kawaru」

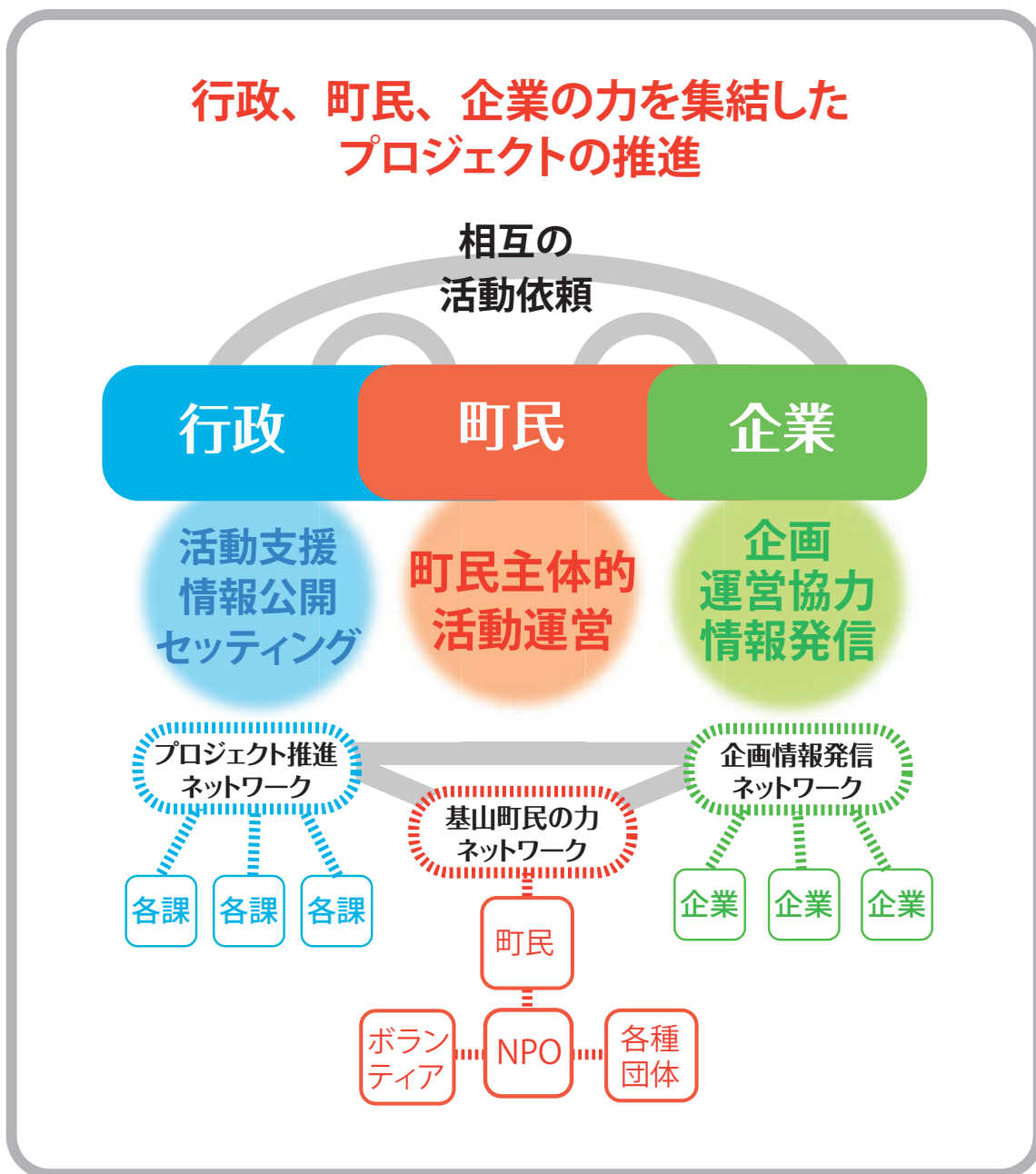
今、町民は変革を求め、自らも変わろうとしています。その動きを町全体の気運に高め、行政も町民も「今、自分たちが基山の未来を動かしているという実感」を得ることのできる真の協働の10年、「目に見える変化」を遂げる10年にしていくことが重要です。

これからは、真の基山力（協働）でまちづくりを成功させていく時代です。業務の進捗や評価についても「目に見えるもの」にしていくことで、行政職員のモチベーションを向上させ、町民の達成感や団結力につなげ、町外からも協力者を増やし、様々な方面から基山町によりよい意見を取り込むことのできるしくみにする必要があります。

そのためには、人の動きや町の動きが見える、進捗や達成が見える、「変化が見える10年」にしていくことが最も重要です。基山町は「Kプロ」～**き**やまが**か**わる10年**プロ**デュース～を立ち上げ、目に見える3つの戦略のもと、5つのプロジェクトを展開していきます。

K-プロ推進体制のイメージは右図のようになります。

[K-プロ] 推進体制イメージ図



目に見える3つの戦略と5つのプロジェクト

1 目に見える「ひと」づくり

「ひと」は基山の宝。基山町のすべての町民が豊かな可能性をもつ存在として尊重され、一人ひとりがそれぞれの役割を担う大切な財産であるとの認識のもと、基山町で暮らす人たちがいきいきと活躍し、それが目に見える「ひと」づくりを行います。

基山アカデミック（教育）プロジェクト

基山 SGK（すごか）プロジェクト

2 目に見える「価値」づくり

新たな基山町の価値やブランドの構築を進めることは、そこに暮らす人や企業、暮らしそのものの価値を高めることにつながります。民間の力を借りながら、基山町のシティプロモーション活動に積極的に取り組み、交流人口、定住人口の拡大につながる目に見える「価値」づくりを行います。

基山定住サプライズプロジェクト

基山ブランディング[※]プロジェクト

※「ブランディング」

ブランドとして認識されていないものを価値のあるブランドへ育てあげるための活動

3 目に見える「評価」システム

本計画を確実に実行するためには、開かれた情報公開とともに、誰もが達成状況を確認できる評価システムが必要です。PDCA（Plan—Do—Check—Action）のサイクルにより、施策の実効性を高める好循環の構築を図り、住む人にも訪れる人にも満足度の高いまちをめざします。そのため、住民満足度調査により数値目標を具体化していきます。

基山満足度プロジェクト

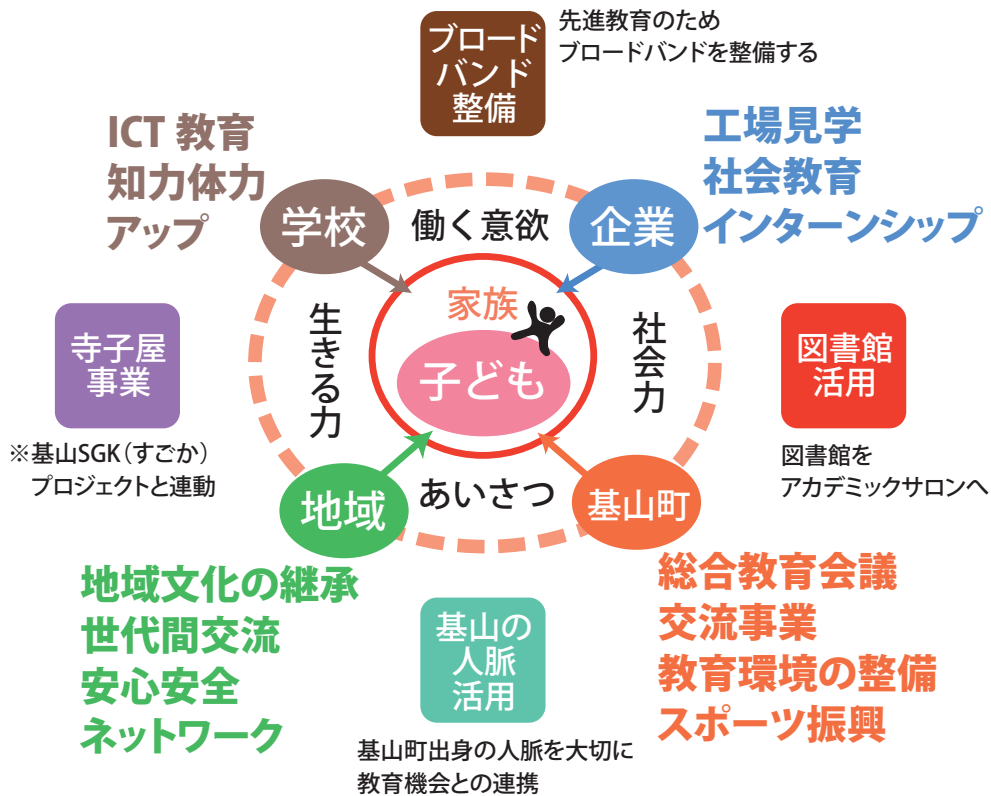
目に見える「ひと」づくり

あらゆる方向から基山の子どもたちの総合的な教育力の向上に取り組む

基山アカデミック(教育)プロジェクト



基山町の豊かな自然環境のなかで、地域ぐるみ、社会総がかりで、総合的な子育て・子育て環境を整備することにより、子ども・若者が自立心や社会性を培い、これからの地域社会を担っていけるよう、県内 No.1 の総合学習力の推進をめざします。



基山町が考える総合教育



基山の idea (「基山の知恵 Cafe.」参加者の声)

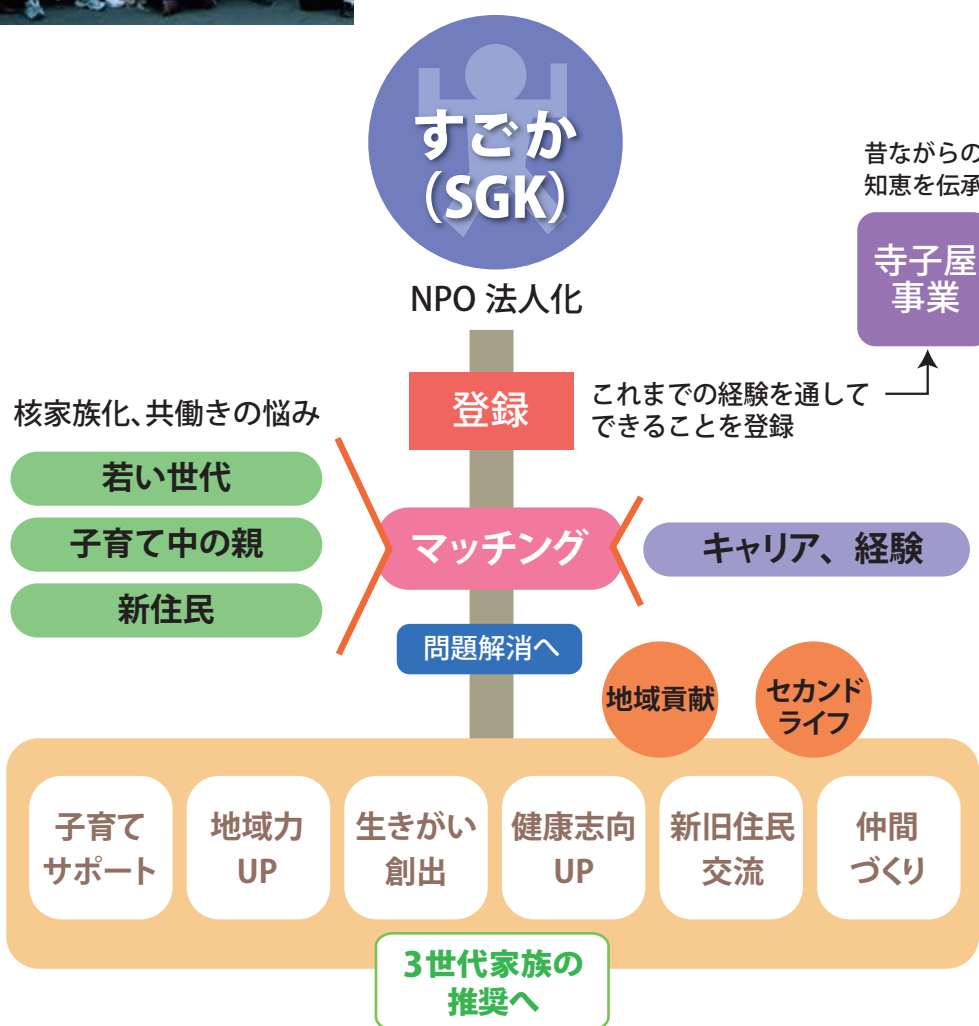
子育て世代を対象とした政策が必要／最新教育(タブレット導入など)／基山宿泊+LAB学生へ／子育てに「金」と「人」をつかう／基山町子育て応援宣言／子どもの五感が育つまち／子育て日本一めざせ／やっぱり子どもは大切。みんなで守り、子育て楽しむ／子どもの学力向上をめざし全国的に有名校にする／外で遊べる安全なまち／新しい図書館=アカデミックサロン／ブロードバンド

基山町の経験豊かなシニア層を最大限に活かす人材登録制度をつくる

基山SGK(すごか)プロジェクト



基山町の宝でもある経験豊かなシニア層を「す(Su)ご(Go)か(Ka)」として登録し、子育て世代へのマッチング、地域力の底上げを図ると同時にセカンドライフにおける地域貢献と生きがいの創出、健康志向の引き上げをめざします。



基山の **i**dea (「基山の知恵 Cafe.」参加者の声)

SGK と寺子屋制度は是非やりたい／シニア世代の「マンパワー」活用しないのはもったいない！！／シニアの宝（技術）の掘り起こし／シニアの結束と推進／シニア世代→ボランティアの活動→有効活用する…知恵／プチ就労／3世代世帯を増やす／高齢者向け住宅／シニアはお金がかかるというイメージを払拭／基山はシニアが元気=PR／子育て世代とシニアをマッチング

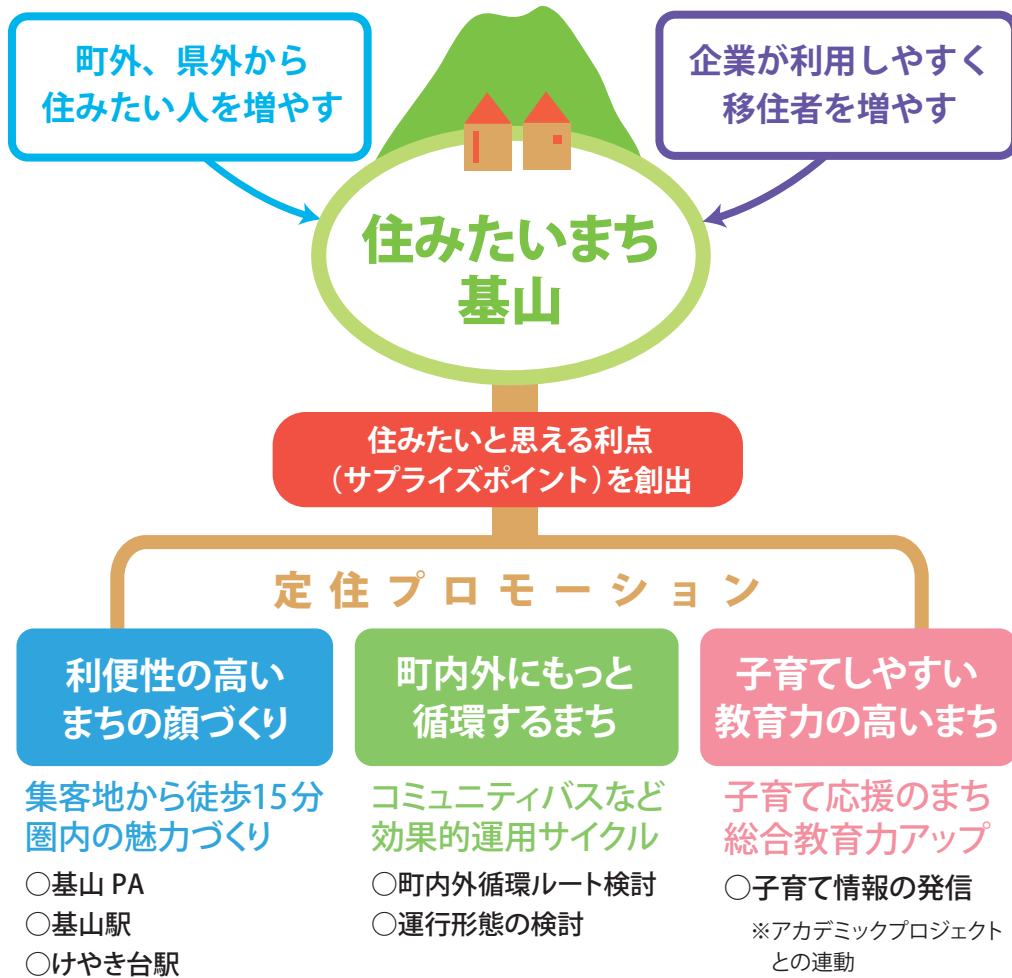
目に見える「価値」づくり

住みたいと思えるサプライズポイントを強化した定住プロモーション

基山定住サプライズプロジェクト



基山PA、基山駅など集客力のある地から徒歩15分圏内をターゲットとし、大規模な地域資源の見直し、未活用地の検証を行い、ニーズに沿った各種の住機能を整備し、「住みたい、あこがれのまち基山」の創出をめざします。



基山のidea（「基山の知恵Cafe.」参加者の声）

すでに人が集まる場所『基山PA・駅前』の活用／基山PAは全国の人が基山を知れる場所／駅前開発重要／（町外企業の意見）近い将来にでも「働く人に優しい町」（コンビニ・ATM・カフェ・バス）となってほしい。従業員の満足度＝会社の満足度につながる／駅を起点に循環バスを／空き家対策／駅前にマンションを／子育て世代の定住には教育と小児科／ラッピングバス

基山町の地域ブランドを確立し、発信力のある基山を育てる

基山ブランディングプロジェクト



モノに限らず、体験やステイタスなど、あらゆる分野から基山町産業振興協議会を中心に基山独自のブランドになる素材を磨き上げ、基山町の価値を高める動きをバックアップし、町の活気とうるおいの創出をめざします。

基山町の地域ブランドを確立



+

効果的なイベントとの連動

ターゲット戦略
短期的・長期的戦略／小規模・大規模戦略
町内へ向けて家族で楽しめる行事化

民間力の投入

- ブランディング**
- 特産品・商品開発
 - PR 戦略
- おもてなし力**
- トイレ環境整備
 - ウォーキングマップ
 - 町内サイン

基山の idea (「基山の知恵 Cafe.」参加者の声)

農作物のブランド化／神社、大興善寺など(お寺、神社)のPRをもっと／基山のシンボル化を推進／「外から見た基山町の魅力」を意識する／基山町にしかないものをつくる／B 級グルメの開発／女性起業家をよぶ／『きやまん弁当』／基山の一番をつくろう／基山にお金をおとしてもらう／きやまんと行く工場見学／PR 行動隊の結成／婚活イベント・名産を民間と一緒に

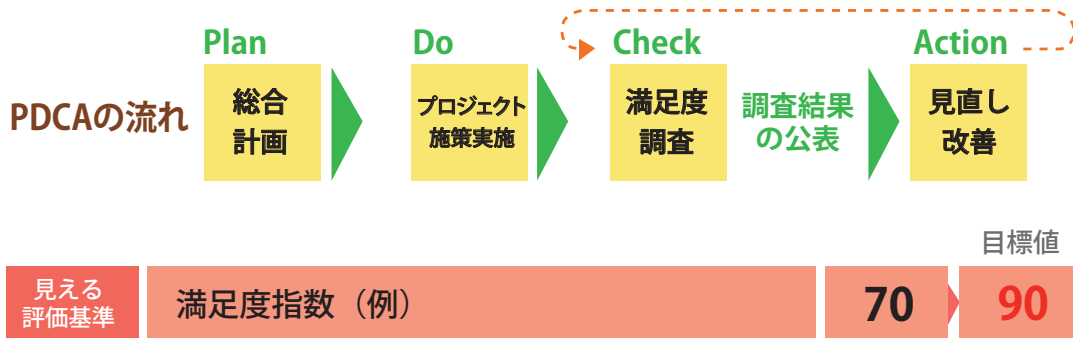
目に見える「評価」システム

町民満足度の高い基山町へ向けて

基山満足度プロジェクト

本計画では、これまで計画の進捗状況としてしか評価ができなかった達成度について、町民の実感に基づく指標のもとに数値目標化し、目に見える評価基準をつくるために、中間年にあたる平成32年にも町民満足度調査の実施、公表、検証を行い、満足度の高いまちをめざします。

町民満足度調査とは 基山町が行う事業などに対し、町民がどの程度満足と感じているか、また、重要と感じているかを把握し、その結果を行政評価などに活用し、行政サービスの改善に資することを目的に調査を行うものです。



■目に見える行政の変化が満足度につながる■

行政目標

～変化を恐れず三步前へ！基山の満足度を引き上げる経営集団へ～

住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまちをめざしていくためには、行政が経営視点で満足度を上げていく必要があります。高い自治能力を発揮していくためには、町民と職員の信頼関係を構築し、自ら地域へ赴き、現場の声をひろい、前に出る姿勢をもつことが大変重要です。長期的な満足度に関わると判断される事例には、変化を恐れず、満足度の実現のために具体的な行動を起こします。

基山の **i**dea (「基山の知恵 Cafe.」参加者の声)

住民の満足度をあげる／行政が積極的に！／基山町在住者の1人1人の願いをしっかりとみ取って頂ける行政を！／希望を持てる行動を／だいじなこと この知恵をカタチにすること これはきやま愛／目標設定したら 実行チェック 対策 進捗率の確認

5 全体構想図

これまでの基本理念を継承しつつ、新たな基山町の将来像である「アイが大きい基山町」～住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山の実現～と、それを実現するための重点戦略『K-プロ』（3つの戦略と5つのプロジェクト）を新、基山構想（基本構想）と位置づけ、基本計画と連動して取り組んでいきます。

[基本理念]

心豊かな人と人との関係づくり

自然と共生したまちの魅力づくり

みんなが進める協働のまちづくり

[新、基山構想] (基本構想)

■ めざす姿
[将来像]



～住む人にも訪れる人にも満足度 No.1のまち基山の実現～

■ 重点戦略

K-プロ

[基山が変わる
10年プロデュース]

1 目に見える「ひと」づくり

基山アカデミック(教育)プロジェクト

基山SGK(すごか)プロジェクト

2 目に見える「価値」づくり

基山定住サプライズプロジェクト

基山ブランディングプロジェクト

3 目に見える「評価」システム

基山満足度プロジェクト

[基本計画]

まちづくりの方向性

自然
+
idea

基山町の自然と開発が調和したまち

ホタル舞う水辺や基山(きざん)での草スキーなど基山町の豊かな自然は町民の誇りです。この自然環境を活かしながら、九州で最も集客力を持つ「基山PA」を有するまちとして、魅力的な集客拠点や宅地整備などに力を注ぎ、人が集まる基山町を創出していきます。

教育
+
idea

オール基山で人を育てる教育力の高いまち

基山町はスポーツに、文化芸術に、多くの人材を輩出しているまちです。今後は、総合的な教育力の高さを基山町の特性にできるよう、地域の多彩なキャリア層や、新図書館の活用など様々な方面から学習の場を創出していきます。

にぎわい
+
idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

基山町の産業については高齢化、後継者不足、雇用など様々な問題を抱えています。今後は新たな価値を産むブランド化や地産地消、第六次産業、民間力の投入などアイデアを効果的に活用しながら、ヒト、モノ、カネが循環するまちを創出していきます。

安心安全
+
idea

基山町に住む人を大切にするまち

高齢化が進む基山町において、福祉環境の充実が最も重要な責務です。高齢者の移動手段や集いの場などを充実させ、元気な高齢者が多い基山町の良さを継続していきます。また子育て支援や防災など、さらに地域力を強化し、支え合うまちを創出していきます。

協働
+
idea

基山町のために結束できるまち

「基山町まちづくり基本条例」を推進していますが、地域間においても様々な問題を抱えており、行政、町民間においても情報発信・共有が不十分な状況にあります。真の協働のまちをめざして、改めて町民主体の結束のまちを創出していきます。

施策体系

- 1 土地利用
- 2 まちなみ環境
- 3 集客拠点整備
- 4 交通基盤整備

- 1 学校教育
- 2 基山式まなび
- 3 スポーツ
- 4 文化財の利活用

- 1 農林業
- 2 工業
- 3 商業
- 4 観光
- 5 基山発

- 1 子育て支援
- 2 高齢者支援
- 3 障がい者(児)支援
- 4 健康・医療
- 5 防犯・防災

- 1 まちの結束
- 2 人権・男女共同参画
- 3 情報公開
- 4 行財政

「+idea」は住民の皆さんの意見や思いを盛り込んでいることを表しています。

6 これまでの基山、これからの基山

計画策定の背景

基山町は、合理的かつ効率的な町政運営の指針とするために、昭和50年3月に「基山町総合計画」を策定しました。現在、平成18年度から平成27年度を計画期間とする「第4次基山町総合計画」に基づいて、基本構想に掲げたまちの将来像～集い ふれあい 助け合い～「みんなで創る 人と自然が輝くまち きやま」の実現に向けて、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。平成23年4月には、県内に先駆けてまちづくりの最高規範となる「基山町まちづくり基本条例」を制定し、協働で創る安心・安全なまちづくりへの取組を進めているところです。

また今後は、全国的な傾向である少子高齢化の一層の進行や税収の減少など、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しくなることが予想されます。これに加えて、地球規模での環境意識の高まりとバリアフリーやユニバーサルデザインの考え方など、町民の価値観・ライフスタイルの変化などにより、行政に求められる役割がますます多様化しています。これらは行政だけで解決できるものばかりではなく、これまで以上に町民との協働による施策の実施が求められています。

計画策定の趣旨

地方分権改革の進展に伴い、今後とも地方の裁量権と責任の拡大が進められるものと考えられます。このような時代において、基山町が自立して歩み続けていける「持続可能なまちづくり」を考えたとき、町民や町内企業との協働により総合的かつ計画的にまちづくりを進めていく必要があります。また、地方分権、急激な社会情勢の変化及び町民の価値観の多様化の中で策定される今回の総合計画は、基山町の将来を左右する重要な計画となるものです。

このような認識のもと、基山町行政における中心的な役割を担う計画として、平成28年度を初年度とする「第5次基山町総合計画」を策定します。



基本理念の継承

これまで基山町において基本理念は、第1次総合計画から今日までめざすべきまちづくりの方向として、安易に変更するものではなく、将来においても維持されるべき性質のものとして位置づけられ、時代の潮流を踏まえた新たな視点を付加しながら掲げられてきました。本計画においては、様々な新しい視点で計画を策定しますが、基山町がこれまで大切にしてきた精神として、基本理念はそのまま継承します。

基本理念

心豊かな人と人との関係づくり

安全で快適に暮らしていくためには、人と人との心豊かな関係が大切です。これまで培われてきた連帯感や共同意識を失うことなく「心豊かな人と人との関係づくり」を基本理念とします。

自然と共生したまちの魅力づくり

まちの魅力をその大きさや利便性だけに求めるのではなく、基山町の貴重な財産である自然や歴史・文化を生かし、さらに共に生きる「自然と共生したまちの魅力づくり」を基本理念とします。

みんなが進める協働のまちづくり

住みよいまちづくりに向けて、町民一人ひとりが地域に関心を持ち、地域で主体的に取り組むことが重要です。また行政においても福祉の増進や基盤整備など、町民と行政とが共に考え、行動していく「みんなが進める協働のまちづくり」を基本理念とします。

計画の特徴

本計画は、次のような特徴をもち、町民・企業・行政が協働で活用できる「まちづくりの教科書」として位置づけます。

(1) 町民と行政が未来を共有し、協働で取り組む計画

～「基山町まちづくり基本条例」を具体化した総合計画へ～

基山全体で取り組む気運を醸成し、「基山町まちづくり基本条例」を具体化させ、『町民の視点』『協働の取組』を反映させる計画とします。

(2) まちの魅力とブランド力を高める計画

～“基山町のシティプロモーション”を展開できる総合計画へ～

対外的な視点から基山町をどのようなイメージで打ち出していくかというシティプロモーションの方向性を示し、目に見える価値づくりを取り入れた計画とします。

(3) 行政の経営指針として活用できる計画

～計画の実施状況と成果がわかる、評価ができる総合計画へ～

行政の経営指針となりうる計画として、ハード・ソフトのあらゆる視点で指標化し、町民の満足度など成果を評価できる計画とします。



計画の構成と期間

総合計画は、「新、基山構想」と「基本計画」で構成し、さらにこれを具現化するために「実施計画」を策定します。

(1) 新、基山構想(基本構想)

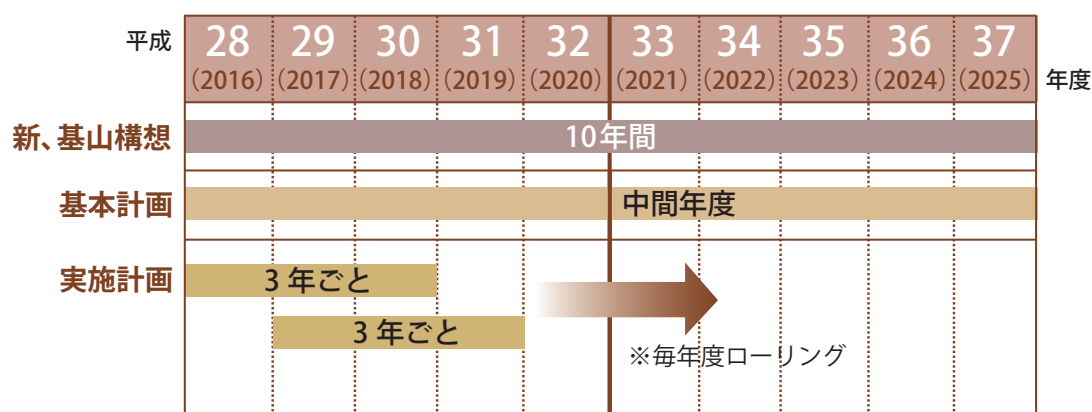
平成28年度～平成37年度(目標年次:平成37年度)新、基山構想は、町の将来像及び施策の大綱により構成する計画とし、平成28年度から平成37年度を目標年度とする10か年の計画とします。

(2) 基本計画

基本計画は、「新、基山構想」に掲げる将来像を実現するために、取り組むべき主要な施策を分野ごとに明らかにして体系化する10か年の計画とし、施策体系ごとにめざすべき姿(こんな基山にしよう)を設定します。計画については、平成32年度を中間年度とし、進捗状況を検証します。その上で、検証に基づき必要な計画の再構築を行うことにより、「新、基山構想」の実現を図ります。また、基本計画の進捗状況を管理するため、各施策に目標値(指標)を設定します。

(3) 実施計画

平成28年度～平成30年度、その後、平成37年度まで毎年見直します。基本計画に示した施策への具体的な取組や実施期間を明らかにした短期的な計画で、毎年度における予算編成や事業実施の指針とします。期間は3年間とし、平成28年度を初年度として、3か年計画で毎年度見直すものとします。



7 今後の社会展望

1. 少子・高齢化の進行と人口減少社会の到来

人口減少、少子高齢化の進行により、地域の活力の低下や、高齢者単身世帯など支援を必要とする家庭の増加などが懸念されます。また、年金、医療、福祉などの社会保障経費の増大、人口減少による税収減などにより、地方自治体の財政状況の悪化が予想されるなど、多方面にわたる影響が考えられ、対応が求められます。

2. 町民参画の拡大と協働の取組の進展

社会への貢献意識の高まり、価値観の多様化などにより、NPO認証数が増加し、災害時などのボランティア活動も広がってきています。こうした状況を背景に、従来行政が担ってきた範囲において、新しい公共としての役割をNPO、ボランティア団体、事業者など、多様な主体が担いつつあり、町民参画の拡大及び協働の取組を踏まえた地域経営が求められています。

3. 経済・雇用状況の変化

経済のグローバル化の進展、東アジア各地域の急速な経済成長と産業構造が高度化する中で、東アジアや環太平洋地域を中心とした生産ネットワークの構築や経済連携の動きが活発化しています。経済のグローバル化の進展に対して、技術力を活かした産業の高付加価値化を進めるとともに、世界各国との協調を図りつつ、共通の課題に取り組むことによって、国内各地域の成長力や競争力の強化につなげていく必要があります。また、観光立国として多文化に配慮した交流人口増への対応が求められます。

4. 安心・安全ニーズの高まり

東日本大震災をはじめ、国内外で大規模な地震が多発しており、今後、南海トラフを震源とする巨大地震の発生も懸念されています。

また、自然災害の激甚化や感染症の発生、子どもや高齢者を巻き込んだ犯罪や交通事故の増加などを背景に、安心・安全に対する関心が高まっています。

5. 環境保全意識の高まり

地球温暖化の防止、循環型社会の構築、生物多様性の保護など、環境への関心が高まっています。地球温暖化は、地球レベルでの気温や海水面の上昇、洪水、高潮、干ばつなどの異常気象を引き起こすとされており、また、化石エネルギーに過度に依存する経済活動は地球温暖化を進めることから、経済発展と環境保全の両立する持続可能な社会の実現が必要とされています。

6. ライフスタイルの多様化

ゆとりや安らぎ、心の豊かさを求める意識が高まっており、また、価値観の多様化や長寿化による定年後の時間の増加に伴い、大都市居住者の地方圏や農山漁村への移住など多様なライフスタイルを選択する人が増えています。これらの多様な暮らし方や働き方を求める需要に対応する受け皿の確保と情報提供が課題となっています。

7. 高度情報社会の進展

携帯電話やインターネット、SNSの普及など、近年の情報通信技術の発達は、生活の利便性や産業の生産性の向上とともに、人と人のつながり方など、住民生活に大きな変化を与えています。

また、遠隔地でも高度な情報へアクセスすることが容易になったことから、産業立地などの分散や自宅勤務などの勤務形態の多様化が進むことが考えられます。

8. 地方分権の進展と行財政改革の必要性

国と地方の関係を対等な立場で対話のできるパートナーシップ型に転換し、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に担うといった「地方分権」の改革が進められています。またこれからの時代、地方公共団体が単独で全ての行政サービスを担うことがより難しくなると予想されることから、近隣市町と広域的な連携を進める必要があります。

さらには今後、少子高齢化が進行するとともに人口減少が進み、一方で町の財政支出は膨らみ税収増も期待できない状況にあることから、行財政の仕組みの転換が求められています。



基本計画

1 自然+idea

- (1) 土地利用
- (2) まちなみ環境
- (3) 集客拠点整備
- (4) 交通基盤整備

2 教育+idea

- (1) 学校教育
- (2) 基山式まなび
- (3) スポーツ
- (4) 文化財の利活用

3 にぎわい+idea

- (1) 農林業
- (2) 工業
- (3) 商業
- (4) 観光
- (5) 基山発

4 安心安全+idea

- (1) 子育て支援
- (2) 高齢者支援
- (3) 障がい者(児)支援
- (4) 健康・医療
- (5) 防犯・防災

5 協働+idea

- (1) まちの結束
- (2) 人権・男女共同参画
- (3) 情報公開
- (4) 行財政

1 自然+idea

基山町の自然と開発が調和したまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(1) 土地利用 定

[主な担当課：まちづくり課 産業振興課]

現 状

自然

- ・基山(きざん)をはじめ町内の豊かな自然空間は町民の誇りであり、維持していく必要があります。

定住人口増対策

- ・今後人口増をめざしていくため、土地利用による計画的な定住人口増対策を図る必要があります。

土地活用

- ・市街化調整区域内の既存集落の土地利用を検討する必要があります。
- ・市街化区域内の残存農地など未利用地の開発を推進する必要があります。

農地利用

- ・地域の活動組織と連携した遊休農地の解消と農地集積を図る必要があります。

こんな基山にしよう

基山(きざん)や基肆城などの基山が誇るべき自然と、中心市街地などへの都市機能の集積によるコンパクトなまちづくりを調和しよう。

利便性の高い都市環境を形成し、有効な土地の活用をめざそう。

農地を集積し、耕作しやすい農地利用をめざそう。



具体的な施策

1 住みたいまち基山の創造（定住人口・人口増対策）

- 『住みたいまち基山』の定住プロモーション活動を行います。
- 旧役場・旧公民館跡地を、高齢者専用住宅や若年層向け住宅など、目的性をもった人口増対策用地として活用します。
- 住宅に関する各種マッチング（空き家紹介など）により定住促進を図ります。
- 市街化区域（長野地区）の拡大や工場緑地の規制緩和などにより、流通・工業用地を確保することで企業誘致の促進を図り、新たな雇用創出や定住人口増に繋がります。
- 住宅用地の確保のための取組（地区計画など都市計画制度の活用）を行います。

2 幸せ大家族化計画（二世帯・三世帯住宅の推奨）

- 二世帯・三世帯住宅の建設を推奨し、建替えを容易にするための施策を行います。

3 積極的な土地開発

- 各種の土地利用規制を遵守し、都市計画マスタープランや基山町国土利用計画などに基づきながら、計画的な土地利用の誘導を図ります。
- 都市計画については必要に応じて見直しを行い、産業用地のフレームを確保します。
- 民間宅地開発行為の活性化（開発道路への助成など）を行います。
- 50戸連たん制度（※）を啓発します。

（※）50戸連たん制度は、敷地間の距離が50メートル以内にある建物が、おおむね50戸以上建っている状態。他に一定の条件があるが、これを満たせば市街化調整区域内であっても開発が可能になる。

4 遊休農地の効果的な活用

- 農地集積の基礎資料を作成し、関係機関・団体などと協議を行い、遊休農地の効果的な運用を行います。

町民みんなで取り組もう

- 都市計画について理解し、建て方やまちなみづくりのルールを守ろう。
- 二世帯・三世帯住宅を検討しよう。
- 農地の利用状況調査や協議、集約へ協力し農地がより効果的に活用されるよう協力しよう。

関連する個別計画

- 基山町国土利用計画
- 基山町農業振興地域整備計画書
- 基山町都市計画マスタープラン

1 自然+idea

基山町の自然と開発が調和したまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(2) まちなみ環境



[主な担当課 :

産業振興課 住民生活課

建設課]

現 状

山林河川

- ・ 荒廃森林を再生する必要があります。
- ・ 河川の浄化と水質汚濁防止の継続や、受益者と町が連携した小規模水路の維持管理を推進する必要があります。

自然環境

- ・ 基山(きざん)の草スキーやホタルの飛び交う川といった基山の自然環境を維持していく必要があります。

環境美化活動

- ・ 様々な環境問題に対して協働で取り組んでいく必要があります。
- ・ 高齢化などによる清掃活動の継続困難などの地域環境課題に対処していく必要があります。

こんな基山にしよう

間伐などの森林整備や治水対策により、自然災害などに強い山林河川づくりをめざそう。

子どもたちが安全に遊べる山、ホタルや野鳥が飛び交う水辺など基山町の自然とふれあえる環境を守り、自然との共生をめざそう。

環境問題への理解と町民一人ひとりの環境保全への意識を高め、住民と行政の協働による住みよいまちづくりをめざそう。

低炭素社会に適応した循環型の暮らしが実現できるまちにしよう。

町民みんなで取り組もう

- 自然とふれあうことで、基山町の自然の大切さを実感できる機会をつくろう。
- わたしたちのまちに愛着をもち、清掃活動や美化活動に努めよう。
- 地域や各家庭でごみの分別や減量に努めよう。
- マイバッグを持参するなど低炭素社会に向けてできることから取り組もう。

具体的な施策

1 災害に強い山林河川整備

- 森林の重要性や森林づくりの取組などについて町民に情報を発信しながら、間伐の推進など森林所有者への支援を行います。
- 小規模水路管理を行うため、法定外公共物(※)の管理・整備のしくみについて啓発し支援を行います。

(※) 道路、河川などの公共物のうち、道路法、河川法、下水道法、海岸法などの管理に関する法律の適用又は準用を受けない公共物を言い、一般的には、里道や水路などと呼ばれています。

2 自然と身近にふれあえる基山づくり

- 親子を対象にした水生生物調査などを通して自然とふれあう機会を増やします。
- 子どもや家族連れが安全に自然と親しめるような自然環境の保全に取り組みます。

3 協働による環境美化の推進

- アダプト・プログラム(里親制度)を啓発し、地域住民との協働による河川愛護活動や環境美化活動を行います。
- ごみの分別収集の徹底(特に資源物)・3R運動(※)の推進啓発を行います。
(※) 3R(スリーアール)とは、「リデュース(Reduce):ごみそのものを減らす」「リユース(Reuse):何回も繰り返し使う」「リサイクル(Recycle):分別して再び資源として利用する」の3つの頭文字を取ったもの。
- ごみ処理・リサイクル施設(クリーンヒル宝満)を活用します。
- 環境美化推進員及び職員の定期パトロールを実施します。
- 企業との公害防止協定の締結・特定工場の排水処理に関する指導を行います。
- 産業廃棄物処理施設周辺の河川水質検査・町内の騒音、大気の検査を行います。
- 基山町公共下水道全体計画に沿った事業推進を行います。

4 新エネ・省エネ対策

- エネルギー問題や環境問題に対処するため、バイオマスや太陽光発電などの新エネ・省エネ対策に取り組みます。
- 低炭素社会(※)に向けた取組を推進し、普及啓発を図ります。

(※) 地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出を、現状の産業構造やライフスタイルを変えていくことで低く抑えた社会。

関連する個別計画

- 基山町国土利用計画
- 基山町農業振興地域整備計画書
- 基山町都市計画マスタープラン
- 一般廃棄物処理基本計画・実施計画
- 公共下水道全体計画

1 自然+idea

基山町の自然と開発が調和したまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(3) 集客拠点整備



[主な担当課： まちづくり課 建設課
産業振興課 教育学習課]

現 状

サイン表示

- ・基山(きざん)や基肆城跡などの主要施設への案内表示板の設置が十分でない状況にあるため、充実していく必要があります。

集客拠点

- ・集客拠点となる基山駅及び基山PA周辺の機能強化を図る必要があります。
- ・基山駅周辺の拠点整備について、第4次基山町総合計画からの課題であるため重点的に取り組む必要があります。
- ・新たな集客拠点となる図書館を多世代が集う憩いの場として活用する必要があります。

ネットワーク

- ・基山駅、基山PA、図書館などを結ぶ交通や魅力のネットワークを強化する必要があります。

こんな基山にしよう

わかりやすい案内表示などにより、町外から訪れる人にもやさしいまちをめざそう。

基山駅及び基山PA周辺を集客拠点の中心と位置づけ、各集客拠点とを結ぶことで交流人口を増加させ、多くの人々が行き交う「住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまち基山」をめざそう。



具体的な施策

1 基山の顔となる集客拠点の周辺整備

- 主要施設へのわかりやすい案内表示板をまちなみ景観に配慮して設置します。
- 利便性の良さを実感してもらえるようなまちの顔(集客拠点)づくりを行います。(基山PA、基山駅、けやき台駅)
- 基山駅周辺の空き店舗などの利活用を推進します。

2 機能的な交通ネットワーク

- 効果的なコミュニティバスの活用により、町内外を循環できる公共交通網を整備します。
- コミュニティバスなどを活用した交通ネットワークづくりに取り組みます。
- 利用者、未利用者の声を聞き、コミュニティバスの運行路線の定期的な検証と改善を行います。

3 集客拠点の連携による新たな魅力拡大

- 基山PAと連携したイベントを開催するなど集客拠点の魅力を最大限に活用します。
- 情報や交流の拠点となるような図書館運営を行います。
- 農園レストランなど新たな集客施設の整備について積極的に検討します。

町民みんなで取り組もう

- 積極的にコミュニティバスを利用しよう。
- 出店などによりイベントに協力しよう。

関連する個別計画

- 基山町地域公共交通総合連携計画



1 自然+idea

基山町の自然と開発が調和したまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(4) 交通基盤整備



まちづくり課 建設課

[主な担当課： 産業振興課]

現 状

道路整備

- ・ 幹線道路や生活道路の整備、行き止まり道路の解消などをしていく必要があります。

歩行者道路

- ・ 安全で安心な歩行空間の整備を行う必要があります。

地域公共交通

- ・ 地域公共交通(コミュニティバスなど)の利便性を強化する必要があります。

広域交通

- ・ 甘木鉄道沿線の効果的な活用を図る必要があります。

こんな基山にしよう

隣接市と接続された防災に強い、安全な道路網の整備をめざそう。

地域公共交通とコミュニティバスの運行を連携し、生活の利便性が向上する地域間のやさしい道路形成をめざそう。



具体的な施策

1 計画的で安全な交通基盤整備

- 道路ストック事業(※)や橋梁長寿命化計画などにより計画的な更新維持管理を行い、継続的な道路交通網の確保を行います。
(※)道路の安全で円滑な通行のため、大型法面などの重要構造物を適正管理するための事業。
- 行き止まり主要幹線の解消を計画的に行います。
- 歩行者や自転車にやさしい安全な道路整備を行います。

2 つなごう交通ネットワーク

- 基山町地域公共交通会議・基山町地域公共交通活性化協議会などで継続的にコミュニティバスなど連携を含めて、他自治体とのネットワーク構築を検討します。
- 甘木鉄道沿線での広域的観光ネットワークを構築します。

町民みんなで取り組もう

- 道路の除草など、維持管理を行政と協働で積極的に行おう。
- コミュニティバスが地域に根ざした公共交通としてより良く利用しやすいようにしていこう。

関連する個別計画

- 公共施設等総合管理計画
- 生活交通ネットワーク計画
- 橋梁長寿命化計画



2 教育+idea

オール基山で人を育てる教育力の高いまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(1) 学校教育 ア

[主な担当課： 教育学習課 こども課]

現 状

基礎学力・体力

- ・基礎学力や基礎体力の向上を図る必要があります。

時代にあわせた教育体制

- ・ICT(情報通信技術)利活用教育や国際教育に力を入れていく必要があります。

教育ネットワーク

- ・学校、地域、家庭、図書館などが連携したサポート体制を強化する必要があります。

特別支援教育

- ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る必要があります。

こんな基山にしよう

児童生徒の自主的な学習意欲の高揚や学習習慣の確立及びICT利活用教育により基礎学力の定着と総合的な体力の向上をめざそう。

社会体験や基山町の歴史と文化に触れるなどの活動を通じ、学校と家庭や地域、図書館と連携・協力を図りながら、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育もう。

障がいのある児童生徒一人ひとりが、ニーズに合った教育を受けられるような体制をめざそう。



具体的な施策

1 時代に適応した教育力の強化

- 学力や学習状況の現状把握と分析による、教育内容の工夫や指導方法などの改善を行います。
- 学校体育、運動部活動などの充実や食育の推進などによる総合的な健康・体力づくりを行います。
- ICT教育の推進やICT機器の整備を図ります。
- 国際人材の育成に向けた関係機関と連携した外国語教育を強化します。

2 学校と地域の連携

- 基山町の人材や人脈を活かした教育機会の提供を行います。
- 放課後や長期休業中、土曜日の補充学習の講師を地域より採用します。
- 地域のスポーツ人材を活用し、授業や部活動の活性化を図ります。
- 社会体験や基山町の歴史と文化に触れるなどの活動を推進します。

3 学校と図書館の連携

- 学校図書室と図書館との連携を強化し、総合学習やレファレンス(※)に迅速に対応し教育力の向上に努めます。

(※)調査・研究のため必要な情報や資料を求めること。

4 特別支援教育の充実

- 特別支援学級補助員を小中学校に配置し、特別支援学校や専門家とともに特別支援教育の充実を図ります。

町民みんなで取り組もう

- 「学習田」や「お茶摘み体験」など地域の関係機関などによる様々な社会体験学習活動に協力しよう。

関連する個別計画

- 基山町教育の基本方針
- 基山町ICT機器整備計画
- 公共施設等総合管理計画
- 基山町子ども読書活動推進計画

2 教育+idea

オール基山で人を育てる教育力の高いまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(2) 基山式まなび ア S ブ

教育学習課 まちづくり課
[主な担当課：こども課 総務企画課]

現 状

人材活用

- ・元気なシニア層が多い基山町においてその経験や知識を活かせる場を増やす必要があります。
- ・全国で活躍している基山町出身の豊富な人材をもっと活かしていく必要があります。

世代間交流

- ・少子高齢化・無縁社会における多世代の交流の場・生きがいを感じる機会を創出する必要があります。

生涯学習

- ・幅広い年齢層の世代の接点となるもの(イベント、サークル、教室など)を見い出す必要があります。
- ・交流の拠点となる施設の充実を図る必要があります。

郷土学習

- ・町(地域)の歴史・生活・習慣を次世代へ伝承していく必要性があり、後継者の育成や郷土文化の継承に力を入れていく必要があります。

こんな基山にしよう

自らのスキルや知識・経験・才能を生かした学びと交流のあるまちづくりによって、生きがいとゆとりを感じるができるまちにしよう。

それぞれの分野や世代が得意とする技術や知識を紹介し、今の時代に生かす工夫をしよう。

多世代が交流し、世代相互の学びのあるまちとして刺激を受け合い、町全体のコミュニティを活性化し、住んでいる人が自ら輝くまちをつくらう。

わたしたちのまち基山の歴史や文化にふれる機会を創出し、郷土学習とともに地域力UPや郷土愛の育成につなげよう。



SGK (すごか) プロジェクト

～ Senior makes Great Kiyama 【シニアがつくるすごい基山】～

基山町の宝でもある経験豊かなシニア層を「す (Su) ご (Go) か (Ka)」として登録し、子育て世代へのマッチング、地域力の底上げを図ると同時にセカンドライフにおける地域貢献と生きがいの創出、健康志向の引上げをめざします。

寺子屋事業

子ども達を学校や家庭だけでなく地域全体で育めるよう、地域の多彩なキャリア層が地域文化の継承などを指導していくことで「生きる力」を学びます。また、経験豊かなシニア層にとっての生きがいの創出、地域貢献にも繋がります。

具体的な施策

1 SGK (すごか) プロジェクトの始動

- SGKプロジェクトの人材登録制度とNPO法人化により、経験豊かなシニア層を最大限に活かすまちづくりを行います。

2 まなびの場の創出

- 図書館を多世代が集うアカデミックサロンとして活用し、誰もが気軽に足を運べる学びと集いの場として、必要な情報を収集し、アクセスできる環境を整えます。
- 図書館や中央公園で、子どもや大人が交流できるイベントの企画・調整を行います。
- 文化祭など町民参加の行事を基山町文化協会や各分野で活躍する人材と協働で取り組みます。

3 基山の歴史や伝統の継承

- 郷土の歴史や文化を題材にした教材づくりや催しを推進します。
- シニア層の豊かな経験・技術を活かして、昔ながらの知恵を伝承する寺子屋事業を推進します。
- 伝統芸能の継承と町内外への情報発信を積極的に行います。
- 放課後子ども教室や寺子屋事業などの講師として、SGKプロジェクトや地域から指導者を募ります。

町民みんなで取り組もう

- SGKプロジェクトの組織化や人材登録に積極的に協力し、地域の指導者として活動しよう。
- 世代をこえて学び合おう。

関連する個別計画

- 基山町協働化推進計画

2 教育+idea

オール基山で人を育てる教育力の高いまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(3) スポーツ ア

[主な担当課： まちづくり課]

現 状

スポーツの普及

- ・住民のニーズに合った参加しやすいスポーツ行事の新設や見直しを行う必要があります。
- ・多様なスポーツ種目についての活動や認識を高める必要があります。

人材育成

- ・スポーツ団体及び人材の育成に力を入れる必要があります。

こんな基山にしよう

地域と連携し、町民だれもが健康でスポーツを楽しめるまちをめざそう。

スポーツを通して他地域との交流・親睦を図ろう。

基山町で開催される各種スポーツイベントを積極的に支援して、町のイメージアップや地域おこしにつなげよう。

基山町から日本や世界で活躍できるスポーツ選手を育成しよう。



具体的な施策

1 スポーツ人口の拡大

- 町民だれもが気軽に参加できるスポーツ行事を検討し実施します。
- 軽スポーツの普及・推進を図ります。
- クロスロードスポーツレクリエーションへの参加を促し、他地域との交流・親睦の充実を図ります。
- 町内で開催される各種スポーツイベントを積極的に支援し、スポーツ交流人口の拡大や町の活性化を図ります。

2 人材育成

- スポーツ振興のため、各種スポーツ関係団体への活動支援を継続します。
- 基山町の人材や一流指導者による指導機会などを企画し、人材育成につなげます。

町民みんなで取り組もう

- 日常的にスポーツに親しみ、地域でのスポーツ行事にも積極的に参加しよう。

関連する個別計画

- 公共施設等総合管理計画



2 教育+idea

オール基山で人を育てる教育力の高いまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(4) 文化財の利活用



[主な担当課： 教育学習課]

現 状

文化財の保護と活用

- ・ 基肄城跡、水門跡及び周辺の整備と活用を図る必要があります。
- ・ 文化財(文化遺産)についての周知と理解を深めていく必要があります。
- ・ 基肄城築造1350年を活かした活動を今後も継続していく必要があります。

民俗芸能の継承

- ・ 地域の昔ながらの民俗芸能について、祭りの存続や後継者の育成に力を入れる必要があります。

こんな基山にしよう

郷土の先人たちにより、守り受け継がれてきた誇りある文化財(文化遺産)を保全し、みんなで学び親しみながら次世代へ伝えていこう。

貴重な文化や歴史をまちづくりの一つのツールとして観光をはじめ様々な分野で活用し、町内外の人に共感していただくような活動を推進していこう。



具体的な施策

1 歴史的文化財の保護

- 特別史跡基肄城跡への理解と見学者の増加を促進するとともに、史跡としての保全と活用を図るため、基肄城跡保存整備事業に取り組みます。
- 埋蔵文化財保護のため、各種開発などとの調整を図ります。

2 歴史的文化財の周知と活用

- 郷土の歴史を認識する拠点として、歴史民俗資料館・図書館を中心に資料収集や調査研究を促進し、企画展などによる公開を行います。
- ボランティア活動による史跡案内ガイドなどの人材を育成します。
- 日本最古の朝鮮式山城である基肄城跡など基山が誇る文化や歴史を広く情報発信します。

3 民俗芸能の継承

- 基山町民俗芸能保存会活動を中心に、町内の限られた地域のみでなく基山町の誇るべき伝統文化として周知し、次世代への継承に努めます。

町民みんなで取り組もう

- まちの貴重な歴史や文化財(文化遺産)を知ろう。
- 地域の伝統行事に参加しよう。
- 史跡案内ボランティアや清掃管理などに参加し基山町の魅力をPRしよう。

関連する個別計画

- 基山町教育の基本方針
- 特別史跡基肄城跡保存整備基本計画

3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(1) 農林業



[主な担当課： 産業振興課]

現 状

農林業経営

- ・ 農地や山林を地域で管理できる組織をつくる必要があります。
- ・ 農林業において、後継者不足の解消と担い手の育成に力を入れていく必要があります。

特産品

- ・ 既存の特産品(お茶、柿、アスパラガス、マコモダケ)の品質向上と販路開拓を行っていく必要があります。
- ・ 地元産の農産物のブランド化や六次産業化(※)など積極的な取組を行っていく必要があります。

(※)六次産業化とは、農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態

こんな基山にしよう

担い手農家や認定農業者、農業経営に意欲のある農業者に対して農地集積を推進し、農地を地域で管理できる農業をめざそう。

遊休農地及び耕作放棄地の解消のため、高齢農業者や離農者からの農地の貸借を推進し、農地の適正な維持管理をめざそう。

福岡都市圏への近接性を活かし、農産物のブランド化、六次産業化(農園レストラン、ミニ直売所、体験・観光農園など)を図り、収益性の高い農業をめざそう。

ふるさと納税、ギフトブック、通販などを活用して、町の特産物の育成、発掘に力をいれよう。



具体的な施策

1 農林業の維持管理の強化

- 農地の維持管理及び多面的機能を継続するため集落営農組織への活動推進を図ります。
- 農地中間管理事業を活用し、担い手農家や認定農業者、農業経営に意欲ある農業者に対して農地集積を推進します。
- 農林業における若者の新規参入を推進し、継続可能な支援体制づくりを図ります。

2 新しい農業の魅力づくり

- 調整区域内の農地をフル活用し、農産物のブランド化や六次産業化の推進を図りながら農商工連携と併せて魅力ある農業や特産品の販路開拓を推進します。
- 地域産の農作物の学校給食への納入など地産地消を推進します。
- 市街化近郊の農地を有効活用し、農業に関心のある方の活動の場として貸し農園を推進します。
- 集落支援員などを活用し、ふるさと納税、PA直売所、通販、宅配などの事業において、町の特産物をPRし、ブラッシュアップ(磨き上げ)をしていきます。

町民みんなで取り組もう

- 農林業に親しみ、新規参入者を温かく支えよう。
- 地域の農産物を利用し、地産地消に努めよう。
- 農地の提供など、貸し農園の推進に協力しよう。

関連する個別計画

- 人・農地プラン
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想



3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(2) 工業



[主な担当課： 産業振興課 まちづくり課]

現 状

企業誘致

- ・ 基山町の立地を活かし日本を代表する優良企業が集積しており、この強みを活かす必要があります。
- ・ 今後も産業用地の確保を図る必要があります。
- ・ 経営安定のため地元企業との情報共有を図る必要があります。
- ・ 企業に基山町のPRを図るよう働きかけていく必要があります。

雇用

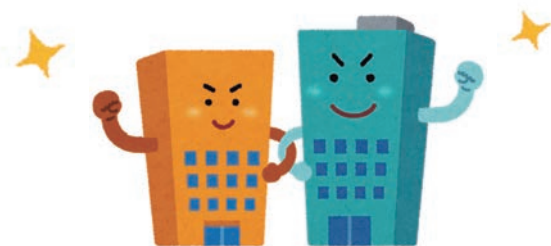
- ・ 企業が集積していますが、町内の若者の雇用につなげることができていない状況があるため、就労支援を図る必要があります。

こんな基山にしよう

利便性の高い地域特性を活かし、関係機関との連携を強化して地域に根ざした未来を担う企業の誘致をめざし、人口増加やにぎわいにつなげよう。

個別企業支援、企業間のネットワーク構築に力をいれるとともに、永続的な企業経営を支援しよう。

地域の中小企業への若者の就職を推進するため、インターンシップや就労マッチングを進め、「働く場のあるまち」にしていこう。(町のハローワーク機能を強化)



具体的な施策

1 企業誘致の推進

- 先進的な新産業分野も視野に入れた企業情報の収集・精査を行い、企業用地などの最新情報と企業誘致奨励金制度などの周知による企業誘致に取り組みます。
- 市街化区域（産業用地）の拡大に努めます。
- 近隣市町との広域連携による情報発信を積極的に推進します。

2 安定運営への支援

- 地元企業の経営安定や育成を図るため、小口融資制度などの利用促進や商工会が行う経営指導、税務・経理指導、経営診断などの事業を支援します。
- 国の中小企業支援策などを積極的に活用するため、商工会と連携し企業訪問などによりニーズの把握・情報の共有を図ります。

3 企業による魅力創造

- 工場見学や社会科見学を推進し、地域貢献や社会教育など新たな魅力創造に努めます。
- 町内の企業と協力して「made in 基山」の魅力をPRしていきます。

4 雇用の確保

- 若者やUIJターン(※)希望者の就労を支援するなど、雇用の場の確保に取り組みます。
(※)大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。
- インターンシップなどを積極的に推進し、雇用の場とのマッチングを図ります。

町民みんなで取り組もう

- 町と企業が互いに協力し魅力を高め合おう。
- 企業は工場見学や社会科見学を推進し、地域貢献や社会教育に協力しよう。

関連する個別計画

- 基山町国土利用計画
- 基山町都市計画マスタープラン

3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(3) 商業



[主な担当課： 産業振興課 まちづくり課]

現 状

店舗経営

- ・魅力ある商業空間を形成する必要があります。
- ・店舗ごとに安定した継続運営ができるように後継者不足解消などを支援する必要があります。

活用や魅力づくり

- ・小売店舗の魅力を発信していく必要があります。
- ・モール商店街をはじめとしたまちなか資源を十分に活用し活気ある空間を取り戻す必要があります。
- ・新たな魅力創造やイベント展開を連携して行う必要があります。
- ・空き店舗については比較的少ない状況にありますが有効な利活用を検討する必要があります。

買い物

- ・高齢化などによる買い物弱者への対応の充実を図る必要があります。

こんな基山にしよう

商店街や商工会が安定した運営を行える活気のある商業のまちにしよう。

商工会の連携により、各種の集客活動を展開して地元店舗の体質強化をめざそう。

基山駅前周辺やモール商店街を中心に活気ある環境づくりをめざそう。

買い物が困難な住民がよりよく商店を利用できる工夫をしよう。



具体的な施策

1 安定運営への支援

- 継続運営に向けて、国の中小企業支援策を活用するなど、商工会と連携しながら事業承継を支援します。
- 小口融資制度の利用促進を図るとともに他機関の融資制度の周知を行います。
- 商店街や商工会向けの補助事業などを活用した活性化事業の推進を行います。

2 連携による魅力づくり

- 中小企業の経営の安定を図るため、小口融資制度などの利用を促進します。
- 商店街や商工会と連携して魅力ある取組を推進することで、基山駅前周辺を中心市街地の活性化を図ります。
- 基山の食材を活かしたイベント展開、農産物のブランド化や六次産業化など産業間や店舗間の連携を強化し、新しい魅力づくりを推進します。
- モール商店街など基山駅前周辺の空き店舗を活用した魅力的な取組を推進します。
- 町内で起業（創業）する方が起業しやすい環境づくりに取り組みます。また町内の空き店舗を活用したインキュベーション（※）施設の整備について検討を行います。

（※）設立して間がない新企業に国や地方自治体などが経営技術・金銭・人材などを提供し、育成すること。

3 買い物弱者への支援

- 買い物弱者の方の移動手段の確保（コミュニティバスの活用など）や宅配サービスの提供など支援の充実を図ります。
- 宅配サービス情報を整理し、サービスが必要な方へ利用しやすい情報提供を行います。

町民みんなで取り組もう

- 店舗の魅力を発信し、にぎわいのある空間づくりに努めよう。
- 基山町の食材や商品を使うことで地域内消費を拡大しよう。

3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(4) 観光 定 ブ

[主な担当課： 産業振興課 まちづくり課]

現 状

観光

- ・ 現在は観光に特化した計画がなく、今後はブランド戦略などの計画に基づくシティプロモーションを推進し、観光面に力を入れていく必要があります。
- ・ 地域ブランドが確立できていないため、地域資源のブランド化に取り組む必要があります。
- ・ 観光資源やグルメなどを組み合わせ、町内を巡回できる観光ルートを展開していく必要があります。
- ・ 町内イベントに観光面から活用していく必要があります。
- ・ 交流人口を増加させるべく、町をあげて観光客を受け入れるおもてなし体制の充実を図り、町全体の回遊性を高める必要があります。

こんな基山にしよう

町民、観光協会、商工業者、農林業者、行政が連携しながら地域資源をブランド化し、シティプロモーションを推進しよう。

観光客や立ち寄り客などを受け入れるおもてなしの体制を町全体で高めていこう。



具体的な施策

1 基山町の地域資源を売り出す（シティプロモーション）

- ブランド戦略を策定し、計画的な観光施策の充実を図ります。
- SNS（※）やメディアを駆使して情報発信を行うとともに、地域おこし協力隊制度を活用して全世界へ基山町の地域資源を売り込みます。
（※）SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とは、人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。
- 恋人の聖地「大興善寺契山」を活用しターゲットを絞ったブランディングや新たな地域ブランドの掘り起こし（商品開発、PR戦略）を行い、シティプロモーションを推進します。
- 県境の地の利を活かし、JR九州ウォーキングやきのくに祭り、ふ・れ・あ・いフェスタなど町内イベントの充実と集客の強化、町外への情報発信を図ります。
- 大興善寺、基肆城跡、基山（きざん）、長崎街道などの自然・歴史文化と酒造や食事スポットといったそれぞれの特性を組み合わせた観光ルートを展開します。
- 新たな拠点開発、既存拠点の見直しなどを通じた甘木鉄道沿線の広域観光ネットワークを構築します。
- 基山PAを活用した拠点形成やイベント開催などによるシティプロモーションを図り、交流人口の拡大を図ります。
- 基山町の独自グルメの開発・展開を図ります。
- 広域連携による観光PRを積極的に推進します。

2 おもてなし体制の強化

- 観光客を受け入れるためのおもてなし体制の充実を図ります。
- 新たな特産品のPRのため、六次産業化への取組を推進します。
- 外国人観光客を含めたおもてなし環境の強化として、トイレ環境、町内マップ、サイン看板、Wi-Fi環境などの整備を行います。

町民みんなで取り組もう

- 町内イベントを町全体で盛り上げよう。
- 観光協会を中心に、町一体となって観光客を受け入れるおもてなし体制に協力しよう。
- 観光客が心地よく滞在できるようきれいなまちづくりに協力しよう。



3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(5) 基山発 ア 定 ブ

[主な担当課： 総務企画課 財政課
まちづくり課]

現 状

情報発信

- ・町の魅力を広く発信するため、ホームページやSNSの活用など多角的な伝達手段を活用していく必要があります。
- ・情報を届けたい相手の年齢層や世代の特徴に合わせて使用するツールを選ぶ必要があります。

こんな基山にしよう

町内の情報環境整備に取り組み、複数のメディアを活用した幅広いPRをめざそう。

町のホームページなどエンターテインメント性をもって、見て楽しめるものをつくろう。

町民や基山町出身者、みんなで魅力ある基山町の情報を町外へ発信し、「基山町へ行ってみたい」、「基山町に住んでみたい」という地域ブランドづくりをめざそう。





具体的な施策

1 どこでもつながるWi-Fi環境

- 公共施設などへのWi-Fi環境を整備するなど情報環境の充実を図ります。

2 基山色豊かで積極的な情報発信

- 「きやまん」や基山のイメージカラー「黄色」を積極的に活用した基山イメージの定着を図ります。
- 町のホームページをはじめSNSや動画などインターネットを活用して、それぞれの特徴に応じた情報発信に積極的に取り組みます。
- メディアを積極的に活用して、植林発祥の地「基山(きざん)」や日本最古の朝鮮式山城「基肆城跡」などの基山発を町外に基山町を売り込みます。
- 町職員自らが町の広告塔として情報発信に取り組みます。

3 情報発信力を定住推進へ活用

- 民間企業やメディアとの連携により戦略的な情報発信を行い、交流人口の拡大と定住促進につなげます。

町民みんなで取り組もう

- 魅力ある基山町の情報を町外に向けて広く発信していこう。
- 町外に住む基山町出身者も、ふるさと基山の魅力ある情報を発信していこう。
- 町のPRになる情報を積極的に行政へ提供しよう。

4 安心安全+idea

基山町に住む人を大切にするまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(1) 子育て支援



[主な担当課:

こども課 健康福祉課

教育学習課]

現 状

子育ての背景

- ・ 少子高齢化、核家族化などの進展に伴う子どもや家庭を取り巻く環境の変化に対応していく必要があります。
- ・ 子育て支援制度に伴う保育の質、量の確保を行う必要があります。
- ・ 要保護児童への対応を行う必要があります。

子育てネットワーク

- ・ 子育てサークルの育成・支援を行っていく必要があります。
- ・ 子育ての仲間づくりの支援を行っていく必要があります。
- ・ 子育て情報について細やかな情報発信を行う必要があります。

母子保健

- ・ 細やかな健診体制を今後も継続していく必要があります。
- ・ 子どもの発育・発達において相談から療育まできめ細やかな支援を行う必要があります。
- ・ 家族や周囲の支援が得られにくい妊婦や母子への支援を充実させていく必要があります。

こんな基山にしよう

保育を必要とする保護者へ多様な保育環境の提供、子育て中の保護者への支援の充実を図ろう。

妊娠・出産・育児をめぐる不安を解消し、だれもが安心して子どもを生み育てることができるような環境を地域ぐるみでめざそう。



具体的な施策

1 子育て支援の充実

- 保育環境及び保護者への支援の充実を図ります。
- 子どもの医療費助成制度の充実を図ります。

2 基山の子育ての輪づくり

- 子育て支援センターを設置し、育児相談助言・情報提供体制の充実を図ります。
- 放課後児童クラブの運営・サービス体制の充実を図ります。
- 関係機関と連携し、虐待の早期発見と早期対応に努めます。
- メディアを活用して子育て情報を町内外に発信します。
- 子育て交流広場の充実と子育てサークルの育成・支援を行います。

3 細やかな母子保健サービス体制

- 妊娠期から関わりを持ち、妊婦との信頼関係を築きます。
- 妊娠・出産・子育てに関する情報を積極的に提供します。
- 母子保健に関する支援が必要な人を早期に発見し、早期介入に努めます。
- 細やかな健診など母子保健サービスを継続し、更なる充実に努めます。

町民みんなで取り組もう

- 子育て家庭を見守り、地域ぐるみでお互いに助け合いながら子育てしよう。
- 虐待と思われるケースについては、すぐに行政機関へ情報提供しよう。
- 子どもや保育士、保健師などに関わりを持ち信頼関係を深めよう。
- 妊婦健診や乳幼児健診を受診し、自分自身と子どもの健康を守ろう。

関連する個別計画

- 基山町地域福祉計画
- 公共施設等総合管理計画
- 子ども・子育て支援事業計画

4 安心安全+idea

基山町に住む人を大切にするまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(2) 高齢者支援 S

健康福祉課 総務企画課

[主な担当課： まちづくり課]

現 状

介護保険

- ・ 介護保険制度の維持に向けた取組、介護予防のための対策を行う必要があります。
- ・ 高齢者一人ひとりのニーズに合った福祉サービスの提供を行う必要があります。
- ・ 高齢者への虐待また認知症高齢者の徘徊への対応を行う必要があります。

生きがいづくり

- ・ 社会参加と生きがいづくりの推進を基山町の核として強化する必要があります。

ユニバーサルデザイン(※)

(※) 年齢や障がいの有無にかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

- ・ 高齢者をはじめ町民みんなにとって安全で利便性の高い施設や歩行空間を形成する必要があります。
- ・ 施設などハード面のみならず、ソフト面との連携も図る必要があります。

こんな基山にしよう

高齢者の体力づくりと介護予防の推進により高齢者の積極的な社会参加を促し、健康や生活に不安がなく、元気な高齢者が生きがい(楽しみ、役割)を持って、笑顔で住めるまちをめざそう。

高齢者をはじめ、すべての町民にとって暮らしやすいユニバーサルデザインによるまちづくりをめざそう。



具体的な施策

1 安心できる高齢者支援

- 地域や民生委員・児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体と連携を図り、地域ぐるみで高齢者への見守り活動を強化します。
- 介護予防講演会、介護予防教室、認知症サポーター養成講座、出前講座、家庭訪問、介護予防ボランティア・ポイント事業などの介護予防事業を推進します。
- 高齢者への虐待対応や虐待防止の啓発を図ります。
- 徘徊高齢者の登録制度の推進と徘徊模擬訓練や声掛け訓練を定期的を実施します。
- 住み慣れた地域で暮らしていけるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される基山地区地域包括支援センターを周知活用します。

2 基山で楽しいシニアライフ

- 地域や関係機関と協働しながら、高齢者の経験や能力を活かせる場を提供し、S G Kプロジェクトに繋がります。
- きやまんふれあいセンター（福祉交流館）や老人憩の家などを活用して、高齢者や介護をする方が気軽に集える場や機会の確保を行います。

3 ユニバーサルデザインによるまちづくり

- 町民が暮らしやすいまちづくりへの啓発に努め、ハード及びソフトの物心両面からのユニバーサルデザインによるまちづくりに取り組みます。

町民みんなで取り組もう

- 近隣住民及び郵便局など高齢者に接する機会の多い事業者による声掛けや見守りを行おう。
- 気軽に話せる仲間をつくり、積極的に交流しよう。

関連する個別計画

- 基山町老人福祉計画
- 基山町地域福祉計画
- 鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険事業計画

4 安心安全+idea

基山町に住む人を大切にするまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(3) 障がい者(児)支援

健康福祉課 教育学習課

[主な担当課： こども課]

現 状

障がい者(児)支援

- ・ 障がい者(児)の福祉サービスへのニーズの多様化に伴う福祉サービス提供体制の充実を図る必要があります。
- ・ 在宅生活支援のため、個々に応じた多様な支援体制の充実を図る必要があります。
- ・ 障がい者(児)及び家族を支援するためのボランティアの育成を図る必要があります。

こんな基山にしよう

障がい者(児)一人ひとりのニーズに合ったきめ細やかな福祉サービスを提供し、地域で生きがいを持って暮らせるまちをめざそう。



具体的な施策

1 障がい者(児)支援の強化

- サービスを一体的に提供するため、鳥栖・三養基地区総合相談支援センターを中心に地域自立支援協議会と連携し、個人ごとの相談支援計画に基づく相談支援体制の充実と情報提供を行います。
- 基山町ボランティア推進協議会と連携し、地域における福祉活動のボランティアを育成します。
- 障がい者(児)の文化・スポーツ活動を支援します。
- 障がいや障がい者(児)についての正しい知識と理解を深めるため、積極的な啓発活動を行います。
- 障がい者(児)の就労などの社会経済活動への参加を支援します。
- 援護が必要な障がい者(児)の権利を守るために成年後見制度を周知・活用します。
- 障がい者(児)の虐待防止のため、鳥栖・三養基地区総合相談支援センターなど関係機関と連携し早期発見・早期対応を図ります。

町民みんなで取り組もう

- より暮らしやすい地域にするため、声掛け、見守りを行い、また、福祉活動のボランティアに参加しよう。
- 社会福祉協議会、福祉施設などと地域が連携し、高齢者や障がい者(児)などが集える場を作ろう。

関連する個別計画

- 基山町障害者基本計画
- 基山町障害福祉計画

4 安心安全+idea

基山町に住む人を大切にするまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(4) 健康・医療

ア S

[主な担当課： 健康福祉課]

現 状

健康づくり

- ・生活習慣病をはじめ疾病の早期発見、早期治療を図る必要があります。
- ・各種健診の充実と受診率の向上を図る必要があります。
- ・食育を推進した健康づくりなど食生活の見直しを啓発する必要があります。

医療体制

- ・感染症に対する正しい知識の啓発及び危機管理体制の充実を図る必要があります。
- ・救急医療体制の充実を図る必要があります。

こんな基山にしよう

町民一人ひとりが健康管理や病気の予防に取り組みながら、健康な暮らしができるまちをめざし、各種健診による予防体制を強化し健康寿命の向上による元気な基山をつくろう。

感染症予防や医療体制を確保し、町民が安心して日常生活を送ることができるまちをめざそう。



具体的な施策

1 みんなが元気なまちへ（健康づくりの強化）

- 町民の健康づくりに効果的な情報提供・啓発を行います。
- 健診未受診者に対し受診勧奨を行います。
- 特定健診データ、医療費データなどを分析し、訪問指導を強化していくことで医療費の適正化に努めます。
- 食育に関する広報・啓発活動を食生活改善推進協議会などと連携して行います。

2 地域医療体制の充実

- 町民一人ひとりが健康を守るために、感染症予防などに関して適切な行動が取れるよう正しい知識の普及・啓発を行います。
- 地域間の連携を図り、救急医療体制の整備充実を図ります。
- 医療機関の情報を提供します。

町民みんなで取り組もう

- 健康に関心を持ち、食事など健康づくりに取り組もう。
- 生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療のため健診を受診し、自分の健康を守ろう。
- 身近な医療機関を把握し、わたしの「かかりつけ医」を持とう。

関連する個別計画

- 基山町特定健康診査等実施計画
- 基山町データヘルス計画
- 基山町食育推進計画
- 公共施設等総合管理計画
- 基山町健康増進計画
- 基山町新型インフルエンザ等対策行動計画

4 安心安全+idea

基山町に住む人を大切にするまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(5) 防犯・防災 定

総務企画課 こども課

[主な担当課： 産業振興課]

現 状

防犯

- ・ 各種団体で独自に実施されている防犯活動、学童保護などの活動の連携を図る必要があります。
- ・ 高齢者を狙った犯罪防止を強化する必要があります。

防災

- ・ 防災のための情報伝達手段の整備を図る必要があります。
- ・ 災害時などにおける防災体制や避難体制の確立を図る必要があります。
- ・ 避難行動要支援者の把握及び支援を強化する必要があります。

こんな基山にしよう

近年の犯罪の多様化に対応するための国・県・町・地域一体となった防犯活動を推進しよう。

地震や豪雨などの自然災害に備えるため、ハード、ソフト両面から災害対策を推進するまちをめざそう。



具体的な施策

① 安全なまちづくりの推進

- 防犯灯・防犯カメラを必要な箇所に設置します。
- 警察・行政・防犯組織・ボランティア団体・消費生活相談機関との情報の共有と連携強化を行います。

② 防災体制の強化

- 防災のための情報伝達手段の整備を行います。
- 緊急避難所として公民館や公園を活用します。
- 消防団員の確保や自主防災組織への支援を行います。
- 災害時などに備えた避難訓練を実施します。

町民みんなで取り組もう

- 地域点検活動に積極的に参加し、危険な場所があれば町へ報告しよう。
- もしもに備えて、日頃から緊急時の連絡方法や対応について家族でも話し合おう。
- 消防団活動を支援し、積極的に消防団に加入しよう。
- 防災活動や避難訓練へ積極的に参加しよう。

関連する個別計画

- 基山町地域防災計画
- 基山町国民保護計画

5 協働+idea

基山町のために結束できるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(1) まちの結束 ア S 定 ブ [主な担当課： まちづくり課]

現 状

コミュニティ

- ・町民が主体的に活動していけるような意識づくりを啓発していく必要があります。
- ・町民一人ひとりが気軽にまちづくり活動へ参加できる環境づくりを行う必要があります。
- ・町民、議会、行政、企業、コミュニティ、各種団体が連携したまちづくりを推進する必要があります。

こんな基山にしよう

全ての町民が自発的にコミュニティ運営に参加できるようなコミュニティづくりをめざそう。

まちづくりのネットワークを通して地域の課題に協働して取り組み、個性豊かで活気に満ちたまちづくりをめざそう。



具体的な施策

① コミュニティ活動の推進

- 町民が地域で主体的に活動できるような環境づくりや情報提供を行い、地域活動を支援します。
- コミュニティ活動の軸となる各行政区の活動や各区公民館を活用した機能強化を支援します。

② まちづくりのネットワークの強化

- 町民、コミュニティ、議会、行政、企業、各種団体のまちづくりのネットワーク強化に向けた環境づくりに協働で取り組みます。
- コミュニティ活動やボランティア活動への取組を支援します。

町民みんなで取り組もう

- 地域間で協力し、互いに参加しやすいしくみづくりを話し合い、町とも連携を図ろう。
- 地域交流の場として各区公民館を利用しよう。
- コミュニティ活動やボランティア活動に積極的に参加し、連携の輪を広げよう。

関連する個別計画

- 基山町協働化推進計画



5 協働+idea

基山町のために結束できるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(2) 人権・男女共同参画

総務企画課 まちづくり課
[主な担当課： 健康福祉課]

現 状

人権・男女共同参画

- ・あらゆる差別意識の解消に向けた人権に関する理解と認識を深める学習の機会を提供していく必要があります。
- ・家庭・地域・職場・学校などにおける男女共同参画を推進していく必要があります。

こんな基山にしよう

町民だれもが人権に関する正しい知識を持ち、家庭・地域・職場・学校などのそれぞれの場面で、思いやりを持って人と接する気持ちを育み、最優先されるべき基本ルールとして日常生活の中に人権意識を定着させよう。

男女が性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮できるような社会をめざそう。



具体的な施策

1 人権意識の向上

- 人権啓発を目的とした講座、講演の実施及び行政機関、関係機関を対象とした学習機会を提供します。
- 町民に対して、男女共同参画について学習の機会を提供し、参画を推進します。

2 相談窓口の充実

- 人権擁護委員による人権相談を定期的を実施します。
- 佐賀県と連携し、女性の社会進出支援やDV被害者支援などの総合相談を定期的を実施します。

町民みんなで取り組もう

- 学習の機会に積極的に参加し、人権に対する正しい知識を身に付けよう。
- 家庭・地域・職場・学校などにおいて男女共同参画に取り組もう。
- 人権被害にあった場合は相談窓口にご相談しよう。

関連する個別計画

- 基山町男女共同参画推進プラン

5 協働+idea

基山町のために結束できるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(3) 情報公開

満

[主な担当課： 総務企画課]

現 状

情報公開

- ・時代の変化を的確にとらえた行政情報の提供や地域の特性、特色を活かした、町民に身近でタイムリーな情報提供を行う必要があります。
- ・町民の意見を広聴する体制の充実を図る必要があります。
- ・ネットワーク接続端末の多様化と多機能化に対応した施設への環境整備を行う必要があります。

こんな基山にしよう

町政への理解を深められるように、個人情報保護に配慮しながら積極的な行政情報の提供と情報公開をめざそう。

町民への浸透性も非常に高く町民の認知度も高い広報「きやま」を、世代や性別を問わず町民と行政をつなぐ最も基本的な情報媒体として、町民の意見も踏まえながら質の向上をめざそう。

町民が参加しやすい広聴会を開催し、みんなで情報を共有できるまちをめざそう。



具体的な施策

1 開かれた情報公開

- 広報などの視覚的デザインなどを改善し、町民参加型の分かりやすい情報提供に努めます。
- 定期的な情報発信は広報「きやま」で月2回行い、最新情報はホームページやSNSを活用しながら随時発信していきます。
- 情報公開制度を有効に活用してもらえるように制度の浸透を図ります。
- 地域に出向く出前講座を活用して、町民に広く行政情報を提供します。

町民みんなで取り組もう

- 情報公開制度を活用するなど生活に関する必要な情報を積極的に収集しよう。
- まちの情報や様々な制度を知る機会となる出前講座を積極的に活用しよう。

関連する個別計画

- 基山町行政改革大綱
- 基山町行政改革実施計画



5 協働+idea

基山町のために結束できるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(4) 行財政

満

総務企画課 財政課

[主な担当課： まちづくり課 税務課]

現 状

行財政

- ・基山町行政改革大綱に基づく効率的な行政運営を行う必要があります。
- ・職員の人材育成を強化する必要があります。
- ・真の「協働」のまちをめざして町民と行政が互いに基山町を引き上げる必要があります。

広域行政

- ・自治体単独で取り組むよりも自治体間で広域的に取り組んだ方が合理的かつ財政的な負担も軽減できる事業を広域行政で実施していく必要があります。

こんな基山にしよう

単独自治体として運営可能な財政基盤の確立をめざそう。

職員の能力を最大限に引き出す人材育成をめざそう。

町民のニーズに臨機応変に対応できる効率的な行政運営を行い、町民と行政が協働して進めるまちづくりをめざそう。

基山町の役割に応じた広域行政の連携を強化し、連携事業を推進することにより、圏域の一体的な発展をめざそう。

町民みんなで取り組もう

- 協働のまちづくりをめざし、町民主体のコミュニティ活動に取り組もう。
- 近隣自治体の施設や取組も有効に利用しよう。



具体的な施策

1 安定した行財政運営

- 基山町行政改革実施計画の着実な実行を推進します。
- 経費の節減・事業の合理化を図り、健全な財政運営を図ります。
- 町税、財産収入、使用料などの自主財源の確保に努めます。
- ふるさと応援寄附金の推進を図ります。
- 中長期的な財政計画のもと、財政負担の平準化を図ります。
- 公共施設などの整備は、公共施設等総合管理計画において一体的な方向性を明確化するとともに実施計画に基づき計画的な整備を図ります。
- 「まち・ひと・しごと創生」における総合戦略との連動性を図り、地方創生を推進します。
- 他団体への派遣研修や政策形成研修など個々の能力向上を図る研修を充実させます。
- 人事評価制度などにより個性と能力を最大限に引き出す組織を構築します。

2 町民満足度の高い行政運営

- 町民満足度調査（平成27年を基準とし、中間年度の32年、37年と5年ごとに継続実施）を実施し、町民満足度の高い行政運営に努めるとともに、総合計画の執行状況をチェックし、着実な計画運営を図ります。
- 地域に根ざした行政運営を行います。

3 効果的な広域行政の推進

- 町民サービスの向上という視点から、より効果的で効率的な行政サービスの提供が可能な事業は広域連携に積極的に取り組みます。
- 筑後川流域クロスロード協議会（※）やグランドクロス広域連携協議会（※）という県域を超えた地域での交流事業を推進するとともにイベントなどを有効に活用します。
（※）「筑後川流域クロスロード協議会」（構成市町：基山町、鳥栖市、小郡市、久留米市）
（※）「グランドクロス広域連携協議会」（構成市町：基山町、鳥栖市、小郡市、久留米市、福岡市）
- 鳥栖三養基地域ビジョンに基づく連携事業を推進します。

関連する個別計画

- 基山町行政改革大綱
- 基山町行政改革実施計画書
- 鳥栖・三養基地域ビジョン
- 基山町人材育成基本方針
- 公共施設等総合管理計画
- 鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険事業計画

参考資料

1

諮問文

基 企 第 9 9 8 号
平 成 2 6 年 3 月 2 6 日

基山町総合計画審議会 会長 様

基山町長 小 森 純 一

第5次基山町総合計画に関する諮問について

基山町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、第5次基山町総合計画の策定に関し、貴会の意見を求めます。

記

諮問事項 ・ 第5次基山町総合計画に関する事項

2 審議会答申書

平成 27 年 3 月 9 日

基山町長 小 森 純 一 様

基山町総合計画審議会
会長 森 田 昌 嗣

第5次基山町総合計画について（答申）

平成26年3月26日付け基企第998号で諮問のあった第5次基山町総合計画に関する事項について、当審議会において審議した結果、基山町総合計画審議会条例第12条の規定により、別添原案に下記の意見を付して答申します。

記

1. 本計画は行政だけで推進できるものではないため、町民や関係団体などの理解を深め、本計画の実現に向けて地域一体となって取り組んでいけるように努めること。
2. 本計画の推進にあたっては、審議会での意見や審議経過を十分に尊重し、情勢の変化や町民ニーズに対応した、適切かつ効果的な施策の実施に着実に取り組まれること。
3. 計画は実行することが重要であるため、適正に実行されているかを検証するとともに町民への公表を行うこと。

3 議案第17号 第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画について

第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画について

第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画を策定するため、地方自治法第96条第2項の規定による基山町議会の議決すべき事件を定める条例（平成25年条例第13号）第2条の規定により議会の議決を求める。

平成27年6月9日提出

基山町長 小 森 純 一

提案理由

第4次基山町総合計画の計画期間が平成27年度で終了するため、平成28年度から平成37年度までの計画期間を10年とする第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画を策定するにあたり、地方自治法第96条第2項の規定による基山町議会の議決すべき事件を定める条例第2条の規定により議会の議決を経る必要がある。

4 第5次基山町総合計画特別委員会審査報告書

基議総合特第369号
平成27年12月10日

基山町議会
議長 鳥飼勝美様

第5次基山町総合計画特別委員会
委員長 牧 蘭 綾 子

第5次基山町総合計画特別委員会審査報告書

議案第17号 第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画について

本委員会は、平成27年6月15日付け付託を受けた上記の議案に対し、平成27年7月1日から8回の審査を重ねた。その過程において、平成27年12月4日に町長より議案訂正の申し出があり、平成27年12月8日の本会議において許可された。

訂正後の議案を慎重に審査を行った結果、原案を可決すべきものと決定しましたので、会議規則第76条の規定により報告します。

記

第5次総合計画の策定において、町がどう関わったかに対して、住民の声を尊重することを基本姿勢とし、審議会での検討や職員によるプロジェクトチーム・課長等による幹事会、庁議、それらを積み重ねてきたという説明を受けた。

また、第4次総合計画策定の反省点など、今回の計画に盛り込んでいるのかに対して、達成度については報告をしているところであり目標人口について考慮したとの説明を受けた。

新たな人口の目標として交流人口、まちづくり人口を設定したことについて、どういう観点から設定したのかその基本的な考え方に対して、基山町に来ていただいた人が定住することを期待する意味でも設定が必要であり、その人口目標は達成すべきと考えているとの説明を受けた。

基本計画について、町民・行政どちらの視点を主体として作られたのかに対して、町民主体であるがすべてというわけではなく行政の目から見て調整している部分もある。また、10年間を見据えて策定しているとの説明を受けた。

基本構想・基本計画の中で示された表現や文言に関して、審査の中で変更や追加が必要と判断されたものに対しては、その都度協議し検討を行った。

以上の審査を経て今回の決定に至った。

5 基山町総合計画審議会条例

昭和47年4月1日条例第11号

〔注〕平成13年12月から改正経過を注記した。

改正

昭和47年6月22日条例第16号

昭和58年7月1日条例第17号

平成6年7月1日条例第17号

平成13年12月28日条例第22号

平成13年12月28日条例第23号

平成13年12月28日条例第34号

平成16年12月21日条例第16号

平成17年3月31日条例第7号

平成20年3月24日条例第1号

平成23年3月25日条例第2号

平成26年12月12日条例第27号

基山町総合計画審議会条例

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、基山町総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ、基山町総合計画に関する事項について調査及び審議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員18人で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

(1) 町民 13人

(2) 学識経験を有する者 5人

(任期)

第4条 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、必要に応じ会長が招集し、会長が会議の議長となる。

- 2 審議会は、委員の定数の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(部会)

第7条 会長が必要と認めるときは、審議会の所掌事項を分掌させるために審議会に部会を設けることができる。

- 2 部会は、会長の指名する委員をもつて組織し、部会長は部委員の互選により定める。
- 3 部会長は、部会の会務を掌理し、部会における審議の経過及び結果を審議会の会議に報告しなければならない。
- 4 部会長に事故あるときは、その部会に属する委員のうち部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(専門委員)

第8条 計画に関する専門の事項を審議させるため、審議会に専門委員を置くことができる。

- 2 専門委員は、学識経験を有する者のうちから、町長が委嘱する。

(幹事)

第9条 計画に関する所掌事務に従事させるため、審議会に幹事若干名を置くことができる。

2 幹事は、町職員のうちから町長が任命する。

(庶務)

第10条 審議会の庶務は、総務企画課において行う。

(会議録)

第11条 会長は、会議ごとに会議録を作成し、委員2人以上とともに署名しなければならない。

(答申)

第12条 会長は、審議会が町長の諮問事項を決議したときは、速やかに会議録を付して町長に答申しなければならない。

(報酬等)

第13条 委員及び専門委員の報酬及び費用弁償については、基山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例（平成26年条例第29号）の定めるところによる。

(雑則)

第14条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和47年6月22日条例第16号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和58年7月1日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成6年7月1日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成13年12月28日条例第22号）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成13年12月28日条例第23号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成13年12月28日条例第34号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成16年12月21日条例第16号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月31日条例第7号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月24日条例第1号）

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成23年3月25日条例第2号）

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成26年12月12日条例第27号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

6 基山町総合計画審議会委員名簿

区分		氏名	団体名等	分野	任期
町民 (13名)		タグチ ヒデノブ 田口 英信	商工会 会長	商工事業者	H26.3.26~H27.3.9
		ハラ ケンイチ 原 憲一	勤労者協議会 事務局長	勤労者	H26.3.26~H27.3.9
		※ マスダ カットシ 益田 勝俊	区長会 会長	地域コミュニティ	H26.3.26~H26.5.25
		※ ナガイエイゲミツ 永家 重光	区長会 会長	地域コミュニティ	H26.5.26~H27.3.9
		ヒラタ ユリコ 平田 百合子	民生児童委員会 会長	福祉	H26.3.26~H27.3.9
		ツルオカ ケンジ 鶴岡 健治	消防団 団長	安心安全防災	H26.3.26~H27.3.9
		※ トキ ツグオ 時 嗣男	老人クラブ 会長	高齢者	H26.3.26~H26.5.25
		※ ナカムラトシアキ 中村 敏昭	老人クラブ 会長	高齢者	H26.5.26~H27.3.9
		カミハラ ゲンノウ 神原 玄應	観光協会 副会長	町民活動団体	H26.3.26~H27.3.9
		ハラ トシヒロ 原 利廣	農業委員会 委員	農業者	H26.3.26~H27.3.9
		シノハラ ナツコ 篠原 夏子	PTA 基山中学校PTA副会長	教育	H26.3.26~H27.3.9
		ウチヤマジュンコ 内山 順子	社会福祉協議会 事務局長	子育て支援	H26.3.26~H27.3.9
		エフチ ツトム 江淵 勉	一般公募	町民	H26.3.26~H27.3.9
	副会長	ハヤシ マミ 林 真実	一般公募	町民	H26.3.26~H27.3.9
	アマノ リョウ 天野 龍	一般公募	町民	H26.3.26~H27.3.9	
学識経験を 有する者 (5名)	会長	モリタ ヨシツグ 森田 昌嗣	九州大学 大学院芸術工学研究院 大学院統合新領域学府長 教授	学識経験者	H26.3.26~H27.3.9
		ワグリ モモエ 和栗 百恵	福岡女子大学 国際文理学部 准教授	学識経験者	H26.3.26~H27.3.9
		ヨシノ ユウイチロウ 芳野 勇一郎	経済産業省 九州経済産業局 産業部長	学識経験者	H26.3.26~H27.3.9
		オチアイユウジ 落合 裕二	佐賀県庁 統括本部 統括政策監 兼 副本部長	学識経験者	H26.3.26~H27.3.9
		ナカシマショウコ 中島 しょう子	基山町教育委員会 教育委員	学識経験者	H26.3.26~H27.3.9

計 18 名

※…途中交代

7 基山町総合計画の策定方針

第5次基山町総合計画策定方針

平成25年6月12日

基山町長 小森 純一

この方針は、第5次基山町総合計画を策定するために、基本的な事項を定めるものです。

計画策定の背景

基山町は、合理的かつ効率的な町政運営の指針とするために、昭和50年3月に「基山町総合計画」を策定しました。現在、平成18年度から平成27年度を計画期間とする「第4次基山町総合計画」に基づいて、基本構想に掲げたまちの将来像「～集い ふれあい 助け合い～ 「みんなで創る 人と自然が輝くまち きやま」の実現に向けて、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。平成23年4月には、県内に先駆けてまちづくりの最高規範となる「基山町まちづくり基本条例」を制定し、協働で創る安全・安心なまちづくりへの取り組みを進めているところです。

また今後は、全国的な傾向である少子高齢化の一層の進行や税収の減少等、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しくなることが予想されます。これに加えて、地球規模での環境意識の高まりとバリアフリーやユニバーサルデザインの考え方など、町民の価値観・ライフスタイルの変化などにより、行政に求められる役割がますます多様化しています。これらは行政だけで解決できるものばかりではなく、これまで以上に町民との協働による施策の実施が求められています。

計画策定の趣旨

地方分権改革の進展に伴い、今後とも地方の裁量権と責任の拡大が進められるものと考えられます。このような時代において、基山町が自立して歩み続けていける「持続可能なまちづくり」を考えたとき、町民や町内企業との協働により総合的かつ計画的にまちづくりを進めていく必要があります。また、地方分権、急激な社会情勢の変化及び町民の価値観の多様化の中で策定される今回の総合計画は、基山町の将来を左右する重要な計画となるものです。

このような認識のもと、基山町行政における中心的な役割を担う計画として、平成28年度を初年度とする「第5次基山町総合計画」を策定します。

計画策定の根拠

基山町まちづくり基本条例第26条（総合計画）

第26条 町は、総合計画を策定しなければならない。

2町は、総合計画に基づき、行政の各分野における計画の策定及び施策の実施を行うものとする。

計画の構成と期間

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成し、さらにこれを具現化するために「実施計画」を策定します。

(1) 基本構想：平成28年度～平成37年度（目標年次：平成37年度）

基本構想は、町の将来像及び施策の大綱により構成する計画とし、平成28年度から平成37年度を目標年度とする10か年の計画とします。

(2) 基本計画：平成28年度～平成37年度

基本計画は、基本構想に掲げる将来像を実現するために、取り組むべき主要な施策を分野ごとに明らかにして体系化する10か年の計画とします。計画については、平成32年度を中間年度とし、進捗状況を検証します。その上で、検証に基づき必要な計画の再構築を行うことにより、基本構想の実現を図ります。また、基本計画の進捗状況を管理するため、各施策に目標値（指標）を設定します。

(3) 実施計画：平成28年度～平成30年度、その後、平成37年度まで毎年見直します。

基本計画に示した施策への具体的な取り組みや実施期間を明らかにした短期的な計画で、毎年度における予算編成や事業実施の指針とします。期間は3年間とし、平成28年度を初年度として、3か年計画で毎年度見直すものとします。

策定体制

第5次基山町総合計画の策定体制を次のとおり定めます。

(1) 庁内体制

基本構想及び基本計画の策定に当たっては「基山町総合計画プロジェクトチーム」において検討案を作成し、「基山町総合計画幹事会」で原案を作成します。なお、目標年度における目標値（指標）を明確に示す必要があるため、基本計画の策定には全庁をあげて当たるものとします。

① 総合計画幹事会（根拠：基山町総合計画幹事会設置要綱）

- ・幹事会は、総合計画の策定に必要な資料の収集と計画案の作成に当たります。
- ・幹事会は、副町長、教育長、課長等（基山町職員の管理職手当に関する規則（昭和46年規則第3号）第2条に規定する職にある者）により組織します。

② 総合計画プロジェクトチーム（根拠：基山町総合計画策定プロジェクトチーム設置要綱）

- ・ワークショップ等へ参加するとともに、より実働的に事務の具体的調査並びに資料作成等を行うため設置します。
- ・委員は、主幹等（基山町職員の職の設置に関する規則（平成11年規則第17号）第3条第4号、第5号及び第6号に規定する職にある者）をもって充てることとします。

(2) 町民参画

基山町まちづくり基本条例第23条（重要な計画等への参加）に基づいて、住民の行政需要を的確に把握し、その意見等を総合計画策定の基礎とするために、策定過程において積極的に町民の参画を図るものとします。

(3) 外部委託

第5次計画の策定にあたっては、策定事務の一部を効率性の観点から外部委託するものとします。

策定時期

策定時期は平成25年度～平成27年度とし、作業スケジュールは別紙のとおりとします。

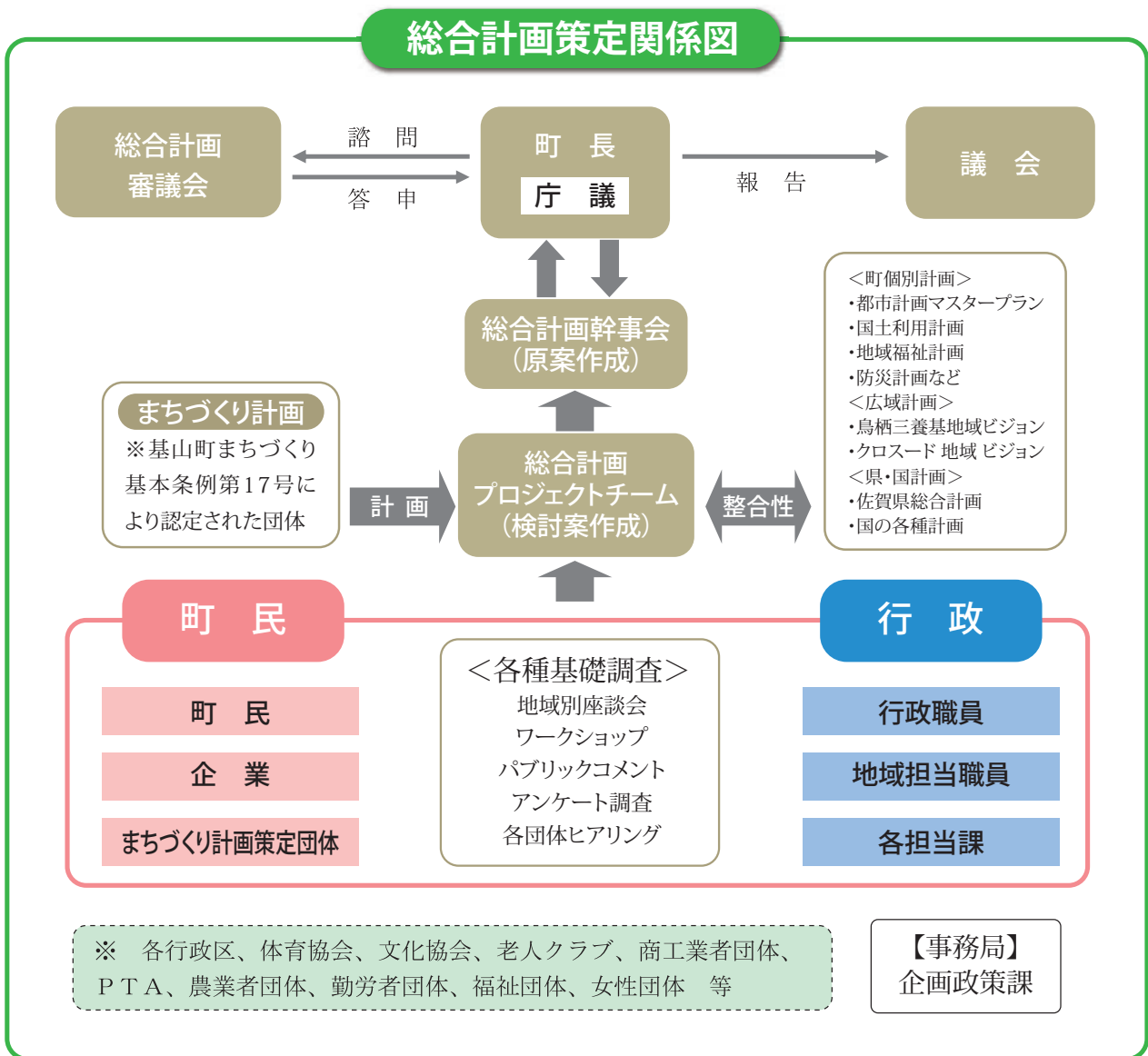
手続き及び策定時期

基本構想はその案を平成26年4月に、基本計画はその案を平成26年11月を目途に作成し「基山町総合計画審議会」の答申を得て策定するものとします。また、町議会に対して基本構想(案)及び基本計画(案)を随時報告するものとします。

公表

基山町まちづくり基本条例第24条に基づき、基本構想及び基本計画を公表します。また、総合計画概要版等の作成を行い、町民にわかりやすい公表の手段により行います。

参考資料



8 基山町総合計画策定経過

第5次基山町総合計画策定業務策定経過

●業務開始

平成25年6月12日	第5次基山町総合計画策定方針の決定
平成25年6月14日	公募型プロポーザル方式による委託業者の募集を開始
平成25年7月 8日	プロポーザル参加業者へのヒアリング 業者選定委員会により契約候補業者を選定
平成25年7月31日	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所と業務委託契約

●スタートアップ講演会

平成25年9月30日	スタートアップ講演会を実施 講 師：内閣府地域活性化伝道師、中国四国博報堂執行役員 北野 尚人氏 「住民がつくるまちの新しいイメージ」 参加者 89名
------------	--

●町民ワークショップ 基山の知恵 Café. (全4回開催 参加者総数 259名)

第1回	平成25年10月 6日	参加者80名
第2回	平成25年11月 6日	参加者81名
第3回	平成25年11月24日	参加者38名
第4回	平成25年12月 3日	参加者60名

●基礎調査・アンケート調査

インターネット調査	有効回答数 828件 8市3町 対象：福岡市・久留米市・小郡市・筑紫野市・鳥栖市・春日市・大野城市・ 太宰府市・那珂川町・上峰町・みやき町
住民アンケート調査	有効回答数 1,198件 回答率 48% 対象：20歳以上の町内在住者 2,500名
職員アンケート調査	有効回答数 123件
基礎調査報告書の作成 平成25年12月 ※基山町HPに掲載済	

● **総合計画プロジェクトチーム会議**（構成：主幹・係長・主任保育士）

第1回	平成25年 9月25日	第7回	平成26年10月 8日
第2回	平成25年12月19日	第8回	平成26年10月 9日
第3回	平成26年 1月22日	第9回	平成26年10月15日
第4回	平成26年 5月20日	第10回	平成26年10月16日
第5回	平成26年 8月 5日	第11回	平成26年10月20日
第6回	平成26年 9月30日		
※班別会議	1班 計6回 (8/15、8/19、8/25、9/3、9/4、9/9)		
	2班 計6回 (8/21、8/28、9/4、9/11、9/12、9/17)		

● **総合計画幹事会**（構成：副町長・各課長）

第1回	平成25年 8月30日
第2回	平成26年 2月 4日
第3回	平成26年 2月24日
第4回	平成26年11月12日
第5回	平成27年 5月27日

● **総合計画審議会**（構成：町民13名（うち一般公募3名）、学識経験者5名）

	平成25年12月16日	総合計画審議会委員選定委員会 委員の選任
第1回	平成26年 3月26日	委員委嘱、基本構想（原案）提示
第2回	平成26年 5月26日	総合計画基本構想（原案）審議
第3回	平成26年 7月14日	総合計画基本構想（原案）審議
第4回	平成26年11月25日	総合計画基本計画（原案）提示・審議
第5回	平成27年 1月20日	総合計画基本計画（原案）審議
第6回	平成27年 3月 9日	総合計画 答申

● 基本構想(原案)説明会・意見交換会

日 時	平成26年2月27日 19:00～
場 所	町民会館 1階会議室 参加者22名

平成26年度の経過

第2回総合計画審議会にて基本構想の審議を開始し、第4回より基本計画の審議を開始しました。

その後、基本計画説明会・意見交換会を経て、第6回総合計画審議会において基本計画の修正箇所を報告し、小森町長へ森田会長より答申書が提出されました。

● 基本計画(原案)説明会・意見交換会

日 時	(第1回) 平成27年2月18日 19:00～ 参加者8名
	(第2回) 平成27年2月20日 19:00～ 参加者0名
	(第3回) 平成27年2月22日 10:00～ 参加者6名
場 所	町民会館 1階会議室 (3回とも同じ)

● 町民満足度調査(アンケート調査)

町民アンケート調査	有効回答数 944件 回答率 38%
	対 象：20歳以上の町内在住者 2,500名
	実 施：平成27年3月上旬

平成27年度の経過

基山町庁議にて第5次基山町総合計画基本構想及び基本計画を決定し、平成27年6月9日基山町議会定例会へ上程しました。

その後、第5次基山町総合計画特別委員会に付託され、8回の審議を経て、平成27年12月14日基山町議会定例会において議決されました。

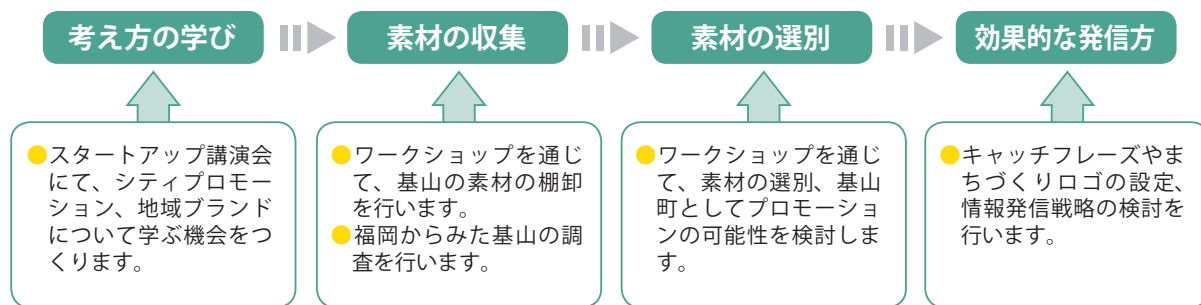
● 第5次基山町総合計画特別委員会

第1回	平成27年 6月15日	委員長の選任
第2回	平成27年 7月 1日	総合計画基本構想及び基本計画についての説明
第3回	平成27年 7月14日	総合計画基本構想について審議
第4回	平成27年 8月 7日	総合計画基本構想及び基本計画について審議
第5回	平成27年 8月26日	総合計画基本計画について審議
第6回	平成27年 9月30日	総合計画基本計画について審議
第7回	平成27年10月21日	総合計画基本計画について審議
第8回	平成27年11月18日	総合計画基本計画について審議
第9回	平成27年12月 8日	総合計画基本計画について審議
第10回	平成27年12月10日	委員長報告確認

9 ワークショップ報告書

第5次基山町総合計画における取り組み報告

■シティプロモーションを取り入れた展開



スタートアップ講演会

今回の総合計画では計画の過程自体をキャンペーンとし、ALL基山で行う計画を作り上げる気運を高める機会として、また今回の視点のひとつとして重要視したい「シティプロモーション」について学ぶ機会としてスタートアップ講習会を実施しました。

開催内容

- テーマ 「住民がつくるまちの新しいイメージ」
- 講師 中国四国博報堂執行役員 北野尚人 氏
- 参加者 86名（外からの参加者3名）
- 参加者の世代 約半数が60代／20代は2%
- シンポジウムはおおむね良かった 90%
- 参加者のうちワークショップへの参加を検討された人 90%



来場者アンケートより

- 活用は難しい
- カタカナの話が多く本当にできるのか
- 自分の考えていたおもてなしの街づくりは間違っていなかった
- オンリーワンを創る考える
- 外部からの視点を意識して行動することが大切と改めて感じた
- 基山のポジションを高め、基山を売り込む手法が理解できた。今後は自治体も競争力が求められる

総評

「シティプロモーション、ブランド力、デザインの力」という視点に、60代の参加者が半数近くを占める状況でどれだけ理解を得られるかがひとつの焦点となりましたが、柔軟に受け入れていただけた方も少なくありませんでした。ワークショップへの参加興味も9割にのぼり、次につながる結果とすることができました。

福岡から見た基山の調査

基山町に対するイメージ等や周知度を調査しました。またイメージ部分については住民意識調査と同じ問いを設定することで町内外の比較ができるように設定しました。

調査対象：福岡市、久留米市、小郡市、筑紫野市、鳥栖市、三養基郡（基山町をのぞく）
春日市、大野城市、太宰府市、筑紫郡那珂川町

（※別紙報告書あり）

基山町の イメージ

（自由回答からの抜粋）

財政が豊か／福岡と佐賀の間のまち／田舎／基山インター／丸幸ラーメン／工場／東明館／創作劇／パーキングでの食事が楽しみ／遠足で何度も登った／基山に咲く野草が魅力的／うまいカレー屋がある／高速道路ぐらいいか詳しく知らない／環境が良ければ移住したいので税制や居住環境を知りたい／路上にゴミがある／活気を感じられない／どこかに行く際の通過点というイメージ／何県のどこの町か知らない／ドライバースクール／夜間暗い／大興善寺のつつじ、紅葉がすばらしい／蛭を見てみたい など

総 評

基山町についての情報認識が非常に低い結果となりました。町外からのイメージとして確立できているものは、漠然とした自然の豊かさと「基山パーキング」、「丸幸ラーメン」となっています。町内外においても認識のズレが生じており、基山町として、町内外含めてシンボルイメージの発信は不可欠であるといえます。

ワークショップ

ワークショップ：くつろいだ空間の中で、広い意見を拾い出し、グループ、組織、年齢に関わらず自由な意見交換の場となるようワールドカフェ形式を採用。みなさんからの「知恵」を集める場として「知恵café.」とし、多くのご意見をいただきました。その際、今後の人口の考え方となりえる「定住人口アップ」「交流人口アップ」「まちづくり人口アップ」+「シティープロモーション」グループに分かれて話し合いを行いました。



基山の知恵 Café. 第1回

平成25年10月6日(日) 15:00~17:00
基山町役場 4F 大会議室 参加者80名

テーマ

「10年後の基山町が今よりずっといいまちになっているとしたら、それはどんなことが実現しているでしょうか」



定住人口アップ

- 若い世代が住みたい、戻ってくるまちに
- 子育て世代が集まり定住できる町→先行投資すべき
- 子育て世帯税 減免等→家賃、公共料金、水道、税金などが高く生活費かかる
- 子育てしやすいまち→PRへた(小中一貫教室・タブレット導入・安全・予防接種無料化など)
- 子育てが充実している町をホームページ、フェイスブック、口コミでPR
- 基山駅前の開発
- 交流する場がない、ほしい
- PRがたりない
- 図書館を活用
- 基山町を歴史の町に(寺、神社、基い城)
- 空き家対策→公営住宅増設
- 駅前開発すべき
- 食(農業作物や農作業)を活かしたイベント→農ギャル○B級グルメの開発
- 高齢者が住みやすい町
- 基山パーキングの活用
- 子育てしやすい・交通の便よさを活用



▶中心となったキーワード

子育て

若い人

PR

空き家

交通の便

駅前



交流人口アップ

- 生活インフラの向上
- 駅前に交流できるカフェ (イベント・アート・演奏会・地元の食材)
- 駅前の活性化
- モール商店街の見直し
- 交流するには駐車場も必要
- 工場見学ツアー
- 年間を通したイベント
- P R
- 基山パーキングを活用
- 草スキー→前は遠くから人が集まっていた



▶ 中心となったキーワード

イベント

工場見学

P R

基山P A

商店街

駅前

まちづくり人口アップ

- 駅前の活性化
- ○目指せ○市きやま町 (合併を視野に入れた方が良い)
(けやき台駅にエスカレーター)
- 多目的駅前カフェ
- 地区別ディスカッション
- 公立の医療施設 (病院)
- 基山町新旧住民の交流
- 基山に金をおとしてもらう
- 循環バスの見直し、充実
- キジ
- 住宅問題
(家賃高い、住宅ない、空き家対策町主導で、若い人へ優遇措置)



▶ 中心となったキーワード

循環バス

住宅

P R

医療

交流

駅前

シティプロモーション

- P R → そのための環境整備
- 農作物・特産物のブランド化
- 最新情報の取得、発信は図書館から
- 駅前 → (コンビニ・A T M・カフェ・バス)
- もっと時間かけて徹底議論
- 町外から人を呼びこむ (空き家対策、残存農地の活用)
- 交通の便がよい
- 基山パーキング → 全国の人が基山を知れる場所



▶中心となったキーワード

ブランド

発信

P R

基山P A

集客

駅前

ポイント：どのグループからも、それぞれの分野で「P R」の重要性がテーマにあがりました。各分野でのP R戦略とともに、基山町としての総合的なシティプロモーションの必要性が感じられます。

2013.10.6(sun)
World Cafe
「基山の知恵 Cafe.」
15:00~17:00
基山町役場第4F 大会議室
参加者 / 80名

No. **1**

NEWS LETTER



80名もの皆さんが
基山町のために
集まってください
ました！

File
001

基山町総合計画へ向けてのワークショップ

第1回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました！

平成25年10月6日(日)、15:00~17:00の約2時間、第1回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました。これは、第5次基山町総合計画の策定のためのワークショップで、『ワールドカフェ』というカフェのようなリラックスした空間の中で行うグループディスカッションです。当日は、お休みの中総勢80名にのぼる皆さんが集結！！基山町の未来のために、たくさんの知恵を出してくださいました！！



File
002

まずは。。。

4つのグループに分かれました！

『定住人口アップ大作戦』、『交流人口アップ大作戦』、『まちづくり人口アップ大作戦』、『シティプロモーション大作戦』という4つのグループに分かれて、それぞれの視点からディスカッションを行いました。



第2回
『基山の知恵 Cafe.』
開催日決定！

平成25年11月6日(水)

19:00~ 2時間程度

基山町民会館(小ホール)にて



予約受け付け中！
詳しくはHPを
ご覧ください！

『基山の知恵 Cafe.』とは？

基山町を愛する町内外のたくさんの方に知恵をいただきたい！そんな想いからこのワールドカフェを『基山の知恵 Cafe.』と名付けました。



File
003

基山町の未来についての問い

10年後の基山町が今よりずっといいまちになっているとしたらどんなことが実現している？



基山町をどんな未来にしたい？いいところ、活かせるところは？



町内外、世代も職業も異なる様々なグループによって『基山の知恵 Cafe.』はスタート。ゆったりとした音楽のもと、コーヒーの香りただよう会場で、自由に模造紙にメモや落書きをしながら話し合いを進めました。途中で別のグループへと席替え。他のグループの新たな意見も参考にしました。最初は少し緊張もありましたが、時間が経つにつれ、どのテーブルも次第に話がもりあがっていきました。

会場のようす

カフェスペース

コーヒー、お茶、紅茶、お菓子などで自由にお取りいただきながら♪



キッズスペース

キッズスペースには絵本や折り紙があります♪お子様連れでも歓迎です♪



File
003

最後に。。。

グループの発表後、全員のアイデアや知恵を「基山の知恵ぶくろ」へ入れました！



具体的な声

- 子育てに力を！若い人がくるまちに！
 - 教育環境は子育ての核！
 - 工場見学ツアーで交流を！
 - 駅前に人が集まるカフェを！
 - 祭りでにぎわう愉快なまちに！
 - 基山は老若男女の『ひと』が強み！
 - 図書館をオープンスペース的に！
 - 空き家を活かして集客を！
 - 基山パークキングの利点をPR！
- などなど。



参加いただいた皆さん全員に基山の知恵 CLUB 証をお渡ししました！



基山の知恵 Café. 第2回

平成25年11月6日(水) 19:00~21:00
基山町民会館 小ホール 参加者81名

テーマ

「前回のテーマからグループでカードをしぼり具体的に成功するためのしくみとして議論を深めプロジェクト化しましょう」



定住人口アップ

1 駅前トホ15分マンションプロジェクト

- 駅降りてすぐマンションが見えればPRにもなる
- 観光協会外に出てどんどん売り込むプロジェクトチーム
- 町と町民がつながる活動が大事・公民の共同体を作って動く!!

2 子どもは大切!~学び育むプロジェクト~

- ターゲットは若い人
- 子育て世代に定住してもらうには2点
 1. 教育に重点⇒学校重要⇒補助⇒学力向上
 2. 専門的な小児科の誘致

3 ~季節を感じる町きやま~プロジェクト

~子どもの五感が育つ街 住んでいる人の心を育むまち~

- 住んでいる人は基山の良さに気付かない
- ちょうど良い田舎で住みやすい!住んでいる人の心の豊かさ
+何か魅力
- 基山は 風水的に良い
- 川 朝気持ちいい野鳥の鳴声
- 図書館 読むだけでなく学習も!!タブレット
- 家賃・税金高いマイナスPRは本当か?もっと今ある価値をPR



ポイント

定住視点としては、具体的な駅前のマンション事業や子育て世代へのアプローチ、自然環境を含めた教育環境の見直しによるプロジェクトが立ち上がりました。特に、魅力ある駅前利用、子育てや教育環境へは強い改革の声が当初から検討されてきました。



交流人口アップ

4 駅前これでよかと?利用者は待っている!!プロジェクト

- 現在は利用者は多いが交流人口ではない
- 現状に満足していない
- 駅で時間を過ごせる空間を!
- 駅前の再開発も含めインパクト必要
- イルミネーション
- 商店街に「丸幸」
- 駅前をB級グルメ街に
- 駐車場も必要
- 駅前に寄っていく人が増えて交流人口UP



5 Nプロジェクト

【短期プロジェクト】

- 基山PA (有名なので人がくる)、ジャズフェスタなど
- 駅前 (乗車数より降者数の方が多い)

この2点を集中的にPR 毎日視覚に訴える!

ロードレース、ふれあいフェスタ、JRウォーキング、恋人の聖地

【長期プロジェクト】

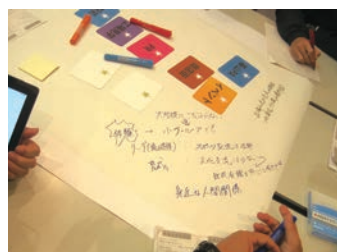
- 子どもを対象にした新規イベントを定期的にして定着
⇒もれなく親がついてくる記憶に必ず残っている
工場見学、きざんの草スキー、農業=若者



6 束で行動しようプロジェクト

大規模にこだわらない

- 10人単位の小グループ⇒場所づくり⇒体験
- 近隣との文化交流⇒集客
- 交流人口の定義は⇒次につながる⇒10年後できるようなことを考えようJRウォーキング、大興善寺、地元の食材使った食事ができる、きざん⇒案内板、町民会館で文化交流



ポイント

交流視点では、共通認識として基山PAや駅の高い集客力を全く活かしていないという声があがりました。そのため、駅前を交流拠点化するプロジェクトや人が来るイベントなどのしつこさを長期、短期と継続的に行っていくしかけや、大規模だけでなく、小グループでの細やかなイベント展開するプロジェクトが立ち上がりました。

まちづくり人口アップ

7 灯台もと照らし プロジェクト

まず、基山に住んでいる人がどれだけ魅力に気付いているか

- 基山を良くするためには 交流・PR
- 文化・スポーツ⇒近隣との交流⇒ダンスイベント 町民会館活用
- JRウォーキング人気⇒JRのPRが上手⇒ロードレースのPRをもっと上手に
- 寺や神社を活かすべき
- 基山町は核がないこれだ!! というものをつくる

8 循環バス・駅前・PRプロジェクト

まずは外から見た時の魅力の前に住んでいる人が魅力を感じるように

- 利用者が少ないのは時間がかかるから
1台を2台にすると利用が増える⇒住みやすい町に
- 夜暗い マイナスをプラスに⇒イルミネーション
- 駅前から基い城にいける方法がほしい
- 民間と共同で
宿泊・名産民間と一緒に、女性起業家をよんでPR、民間主体で婚活!



ポイント

まちづくり視点では、まず、住んでいる人が現段階でまちの魅力に気づけていないという共通認識があたりました。今あるものをうまく生かすプロジェクトや、民間と一体になったPR活動やバスの利便性をあげるプロジェクトが立ち上がりました。



シティプロモーション

9 子育て応援プロジェクト

シニアを活用した子育て応援

- 子育て世代 共働きとシニア 土日ヒマ のマッチング
- シニア⇒やりがいで元気
- 子どもの預かり、家事代行 + シニアだけでなく保育園で働いていた人や保育士も入る
JRウォーキングなどイベントで来客する方も子どもを預けられる
子どもを預けられて交流の場にもなるように駅前を活用

⇒ブランドとしてPR

10 明るくシニアが躍動する町 基山プロジェクト

シニアはお金がかかるというイメージを払拭

～明るく元気なシニアがあふれている～

～いろんなことを10年かけてチャレンジ～

- プチ就労＝遊休農地活用、放課後の子どもとのふれあい、ボランティア活動
- 失敗を恐れない
- ブランドはがんばれば自然とできる
- たくみの集団⇒実践
- 地域力アップ

基山はシニアが元気⇒PR項目へ

- 飲食店でもブランドとなる何かをつくってほしい
- ワークショップ未来を背負う若い人に必要



ポイント

2グループとも、モノではなく「人」をブランドとしてPRしようというプロモーションが立ち上がったことは基山町ならではの展開です。特にこれから増えるシニア層の活躍の場と若い世代の子育て層をマッチさせ、地域力を向上させたいという想いが共通していました。



2013.11.6(wed)
World Cafe
「基山の知恵 Cafe.」
19:00~21:00
基山町民会館 小ホール
参加者 / 81名

No. **2**

NEWS LETTER



今回も、80名を超える参加者！
小郡市からも視察団がみえました！

File 001

基山町総合計画へ向けてのワークショップ 第2回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました！

平成25年11月6日(水)、19:00~21:00の約2時間、第2回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました。今回は時間帯が夜ということで、参加者が少ないのでは？との心配をよそに、町民会館は満員御礼！新しく椅子を出す作業に追われる何とも嬉しい結果となりました。今回初めて参加して下さった方も20名近くいらっしゃいました。時間帯が違うことで、また新たな参加層の知恵をいただくことができました！



動かそう。

『基山の知恵 Cafe.』
残り開催日決定！



まだ、参加したことのないあなた、
一度だけ参加して下さったあなた、
二度も参加して下さったあなた、
ぜひ、基山町のために参加をお願いします！

予約受け付け中！
詳しくはHPを
ご覧ください！

第3回 プロジェクトを本格始動するには？
平成25年11月24日(日)
10:00~ 2時間程度
基山町役場(4階大会議室)にて

最終回 /
第4回 基山町を近隣にどう売り込む！？
平成25年12月3日(火)
18:00~ 2時間程度
基山町民会館(小ホール)にて

『基山の知恵 Cafe.』とは？

基山町を愛する町内外のたくさんの方に知恵をいただきたい！そんな想いからこのワールドカフェを『基山の知恵 Cafe.』と名付けました。



File 002

今回は、前回の知恵 Cafe. で出た意見から、
知恵 Cafe カードを作成！キーワードを絞り込み、プロジェクト構想へつなげました！



まずはキーワードをしぼって、、、さあ、基山をどう動かす？



今回も音楽の流れるゆったりしたカフェ空間を楽しみながら、たくさんの方の知恵が生まれた知恵 Cafe.。今回は、前回に出た知恵を参考に、キーワードとなるものを知恵 Cafe カードとして作成しました。その中からさらにカードをしぼって、ディスカッションを深め、思い思いのプロジェクト構想をたてました！より発信力のあるプロジェクトにするため、プロジェクト名にもこだわりましたよ！

基山を

会場のようす

知恵引き継ぎコーナー
第1回知恵 Cafe. での知恵をまとめ、会場に掲示。知恵は引き継がれています！



知恵の種類コーナー
より多くの知恵が生まれるように、交通や交流などの地域情報を掲示しました。



File 003

最後のプロジェクト発表は、聞きごたえ十分！
プロジェクトは、どれもユニークで斬新！会場を大いに湧かせました。



プロジェクト紹介！

- 東で行動しようプロジェクト（イベント PR）
- 『N』プロジェクト（長・短期的集客のしくみ）
- 子どもは大切！～学び育むプロジェクト～
- 明るくシニアが躍動するまち基山プロジェクト
- 季節を感じる町きやまプロジェクト
～子どもの五感、住んでいる人の心を育むまち～
- 駅前これで良かと？プロジェクト（駅前活性化）
- 灯台もと照らしプロジェクト（住んでいる人がもっと基山を知って PR）
- 駅前徒歩 15 分マンションプロジェクト などなど。

次回、様々なプロジェクトの中から、さらに中身から、さらに中身を深めていきます！

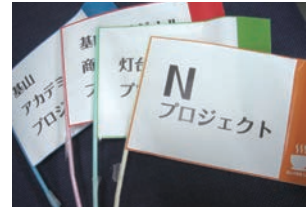


基山の知恵 Café. 第3回

平成25年11月25日(日) 10:00~12:00
基山町役場 4F 大会議室 参加者38名

テーマ

「グループごとのプロジェクトについて具体的に話し合い、プロジェクト説明用紙にまとめてみましょう」

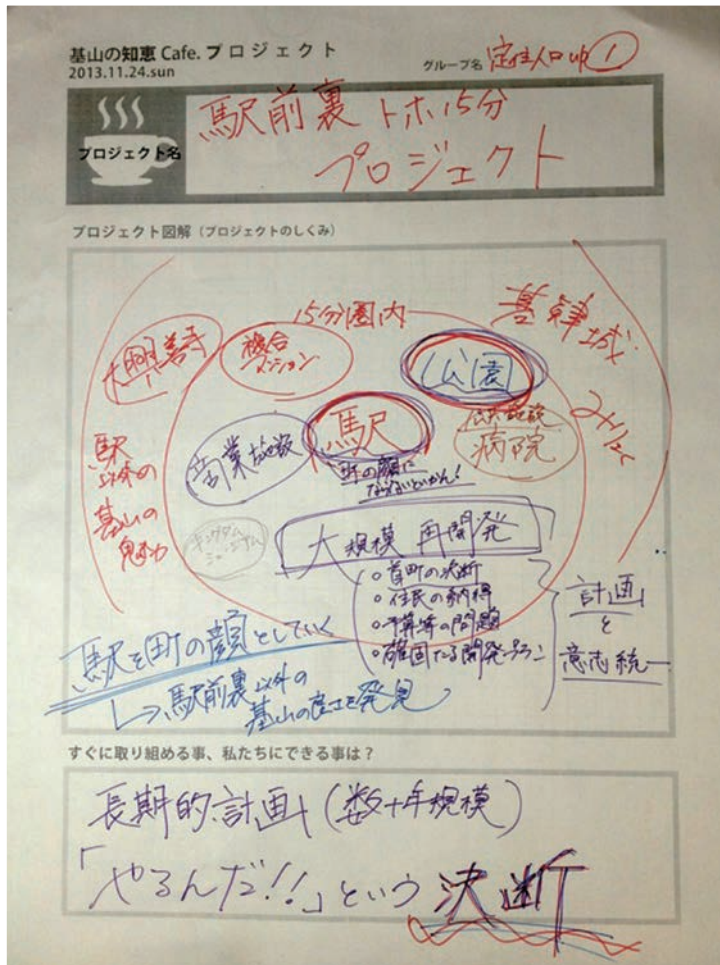


定住人口アップ

「駅前裏トホ15分プロジェクト」

【駅前トホ15分マンションプロジェクト】+【駅前これでおか?利用者は待っている!!プロジェクト】

Q 定住につながる注目度のある駅前開発とは?



プロジェクトの概要

駅前から駅裏まで含めたトホ15分圏内を魅力ある基山の顔にする

- 駅前裏に公園・複合マンション・商業施設・病院・公共施設を!
- 数十年規模の長期的計画。予算をつけた大規模開発を求めるプロジェクト
- 「やるんだ!!」という決断

ポイント

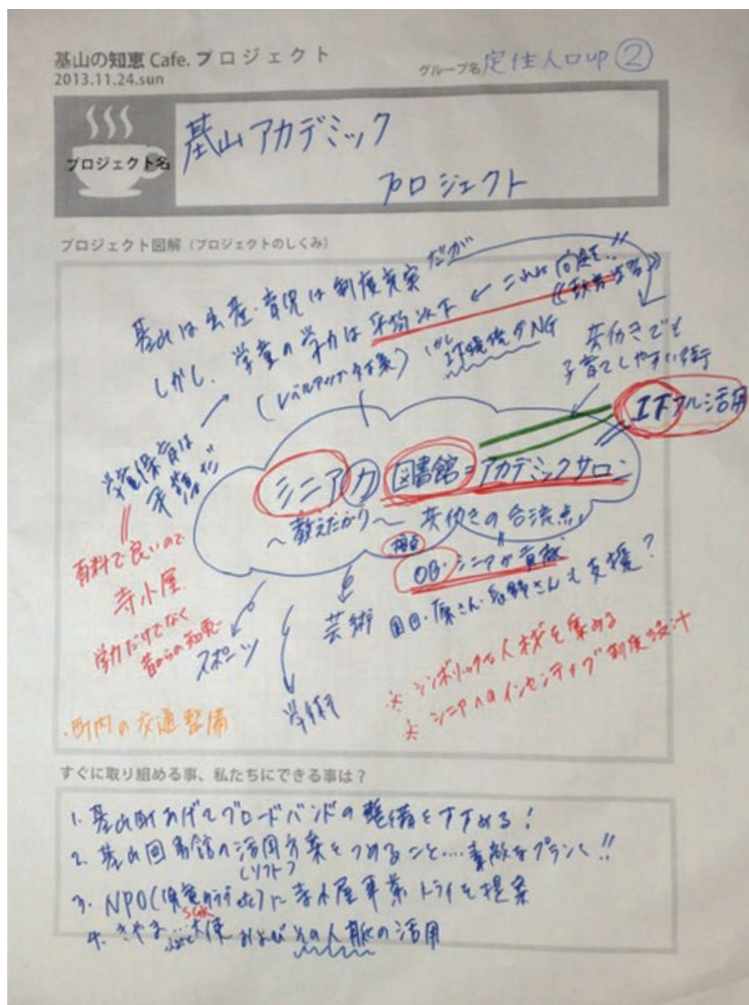
基山駅に限らず基山PAなど集客ポイントから徒歩15分圏内の見直しはひとつの鍵。



「基山アカデミックプロジェクト」

【子どもは大切!～学び育むプロジェクト～】+【～季節を感じる町きやま～プロジェクト】

Q 「教育といえば基山」にするには? 学力、五感、個性を伸ばすには?



プロジェクトの概要

学童の学力レベルアップ対策。シニア力を生かし図書館をアカデミックサロンへ。

- 共働きでも子育てしやすいまちへ
- 有料で良いので「寺小屋」を!昔ながらの知恵を継承できる場
- シンボリックな人材を集める
- 町をあげてブロードバンドの整備を進める

ポイント

総合教育力が上がれば基山町の強みになる。寺小屋制度への反響が大きかった。

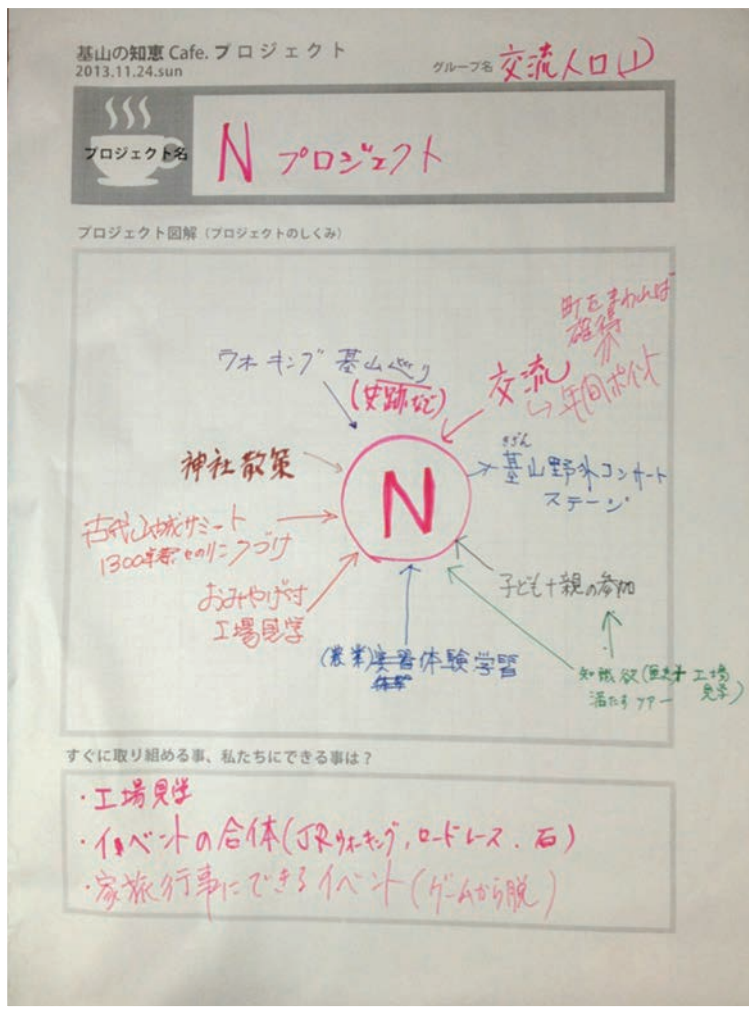


交流人口アップ

「Nプロジェクト」

【Nプロジェクト・東で行動しようプロジェクト】

Q いつでも人が来るイベントのしかけ 短期、長期、大規模、小規模イベント



プロジェクトの概要

さまざまなターゲットを想定した交流イベントづくり

- 町をまわることでポイントになるしくみ
- 集客力のあるイベントとのタイアップ
- 工場見学
- 家族行事にできるイベント（ゲームからの脱）

ポイント

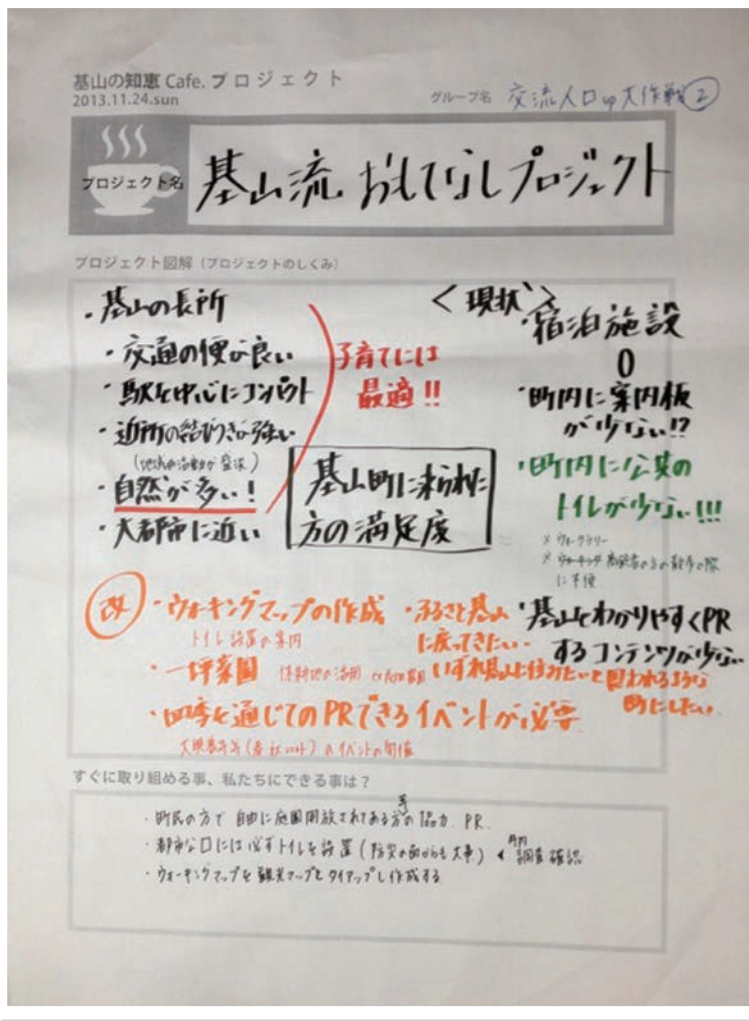
外へ向けてだけでなく家族行事で参加できるイベントの視点も基山町ならではの。町内外いずれの交流も重要視。



「基山流お・も・て・な・しプロジェクト」

【新規プロジェクト】

Q 基山に訪れた人とどう関わる？基山町ならではのおもてなしとは？



プロジェクトの概要

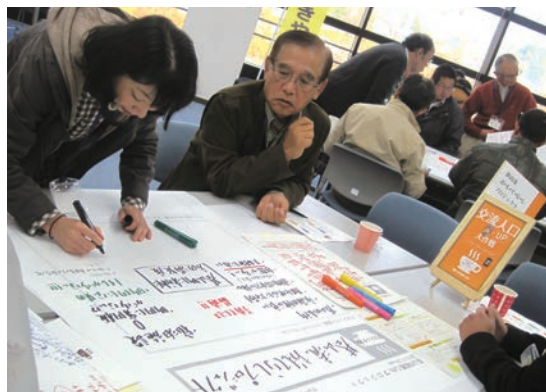
基山に来られた方の満足度をあげる

- 基山の長所を生かす。特に自然。子育てに最適。
- 基山町をわかりやすくまわるコンテンツづくり
- 町内の公共トイレを整備。トイレ情報ありのウォーキングマップ
- 一坪菜園のPR

ポイント

町内の満足度だけでなく訪れた人の満足度も重要視。基山町をよりスムーズに案内するサイン整備も鍵。

参考資料

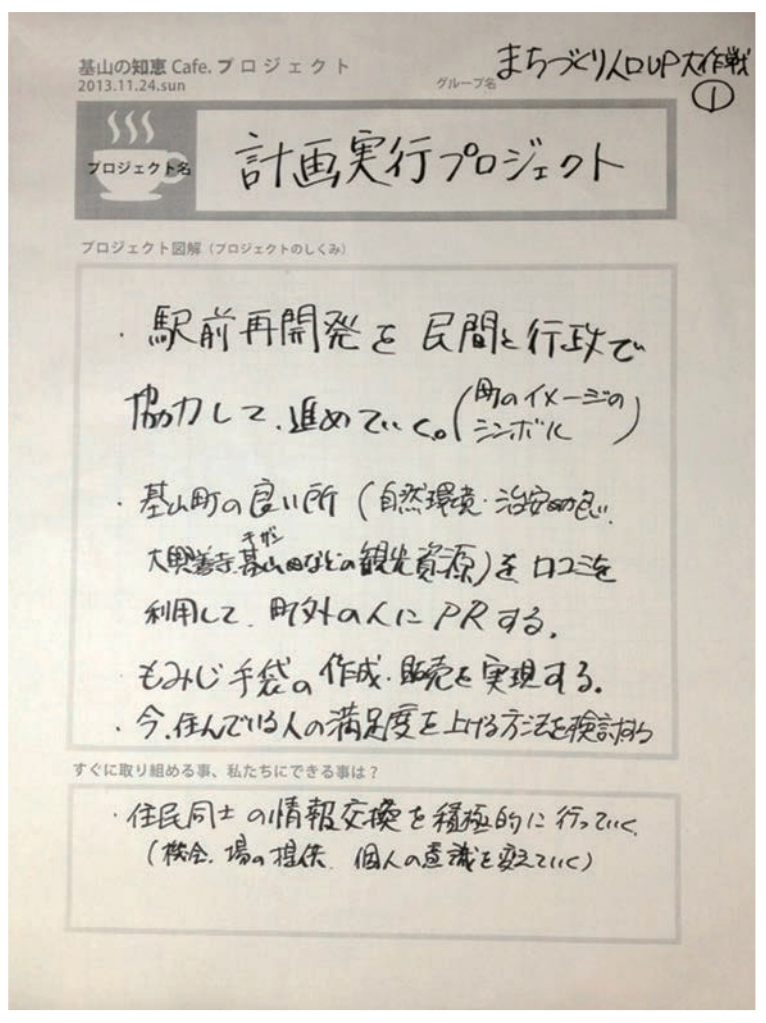


まちづくり人口アップ

「計画実行プロジェクト」

【灯台もと照らしプロジェクト】

Q 今あるもの、基山の良さを見直そう。活用されていない⇒新しいアイデア活用へ



プロジェクトの概要

計画したことを実行していくことが最も重要

- 駅前再開発を民間と行政で協力して進める
- 基山の良いところ（自然環境・治安の良さ・大興善寺・基山など観光資源）を口コミを利用してPR
- 今住んでいる人の満足度を上げる方法を検討する

ポイント

満足度の追求、計画実行戦略は今回の計画においても重要なポイントとなる。



「外から内からもっともっと循環プロジェクト」

【循環バス・駅前・PRプロジェクト】

Q 基山PA、循環バス、人が集まる場所をもっと循環させるには？



プロジェクトの概要

循環バスの毎日運行コース（土日、夜間も含む）による利用度と魅力アップ

- 基山PA⇒けやき台⇒基山駅⇒やまが丘⇒企業、アウトレット、病院という循環
- 夜間運行で町内の居酒屋等食事処やライトアップとつなぐ
- ラッピングバス

ポイント

循環バスの利用度が高まるルート、運行の見直しが必要。ラッピングバスはPR効果大。

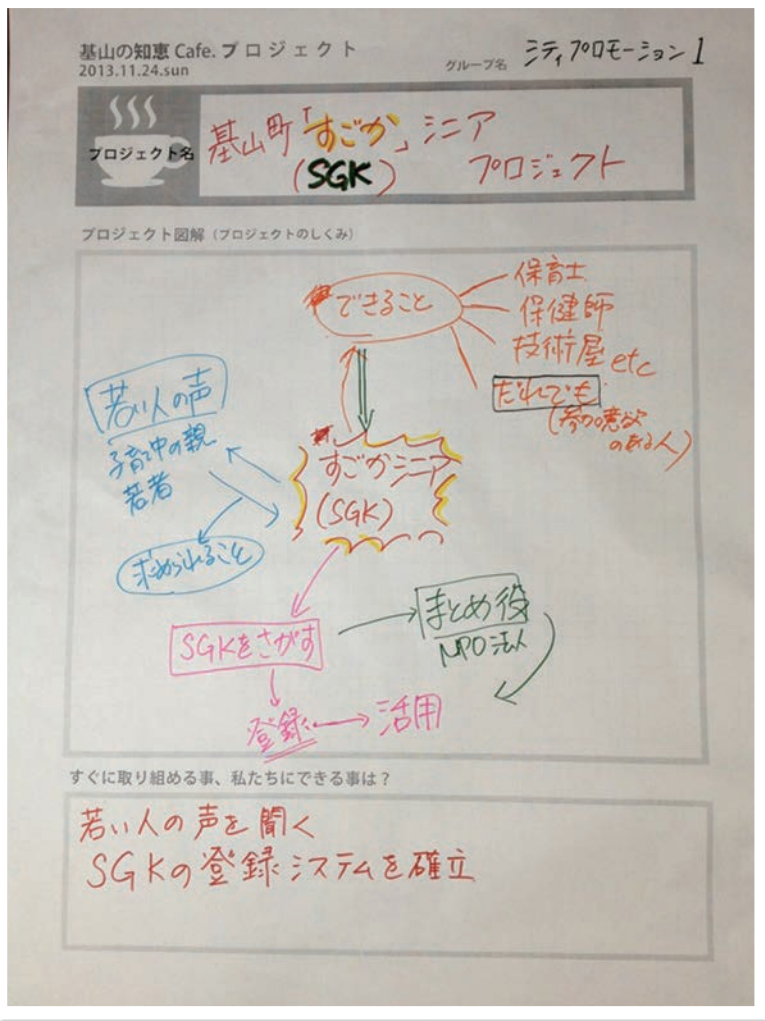


シティプロモーション

「基山町「すごか(SGK)」シニアプロジェクト」

【子育て応援プロジェクト・明るくシニアが躍動する町基山プロジェクト】

Q 基山の元気シニアを生かした子育て応援 生きがいや地域力もアップへ



プロジェクトの概要

基山町のすごかシニア(SGK)のお役立ちシステム

- できる人ができることをやれるしくみ
- これまでの資格や経験、参加意欲を生かす
- 若い人の声を聞きマッチングをはかる
- NPOの立ち上げにより登録システムを確立する

ポイント

最も反響の大きかったプロジェクトであり基山町の新たなブランドとできる視点。新旧住民の交流も鍵。



2013.11.24(sun)
World Cafe
「基山の知恵 Cafe.」
10:00~12:00
基山町役場第4F 大会議室
参加者 / 38名

No. 3 NEWS LETTER



今回は日曜日の午前中に開催！プロジェクト発表が盛り上がりました！

File 001

基山町総合計画へ向けてのワークショップ 第3回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました！

平成25年11月24日(日)、10:00~12:00の約2時間、第3回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました。今回は日曜日の午前中に開催ということで、清々しい日差しの中です。同日に様々な町行事も開催されていたため、いつもより少し少なめの参加者数でしたが、活気はこれまでで最高潮！回を重ねるごとに、基山町の知恵エネルギーは高まっています！！



動かそう。

File 002

今回は。。。 8つのプロジェクトグループに分かれました！

前回の知恵カフェから生まれた、さまざまなプロジェクト案。そこからプロジェクトを8つにしぼり、具体化できるようにじっくりディスカッションを行いました。同時に、私たちがすぐに取り組めることについても考えてみました！



参考資料

『基山の知恵 Cafe.』とは？

基山町を愛する町内外のたくさんの方に知恵をいただきたい！そんな想いからこのワールドカフェを『基山の知恵 Cafe.』と名付けました。



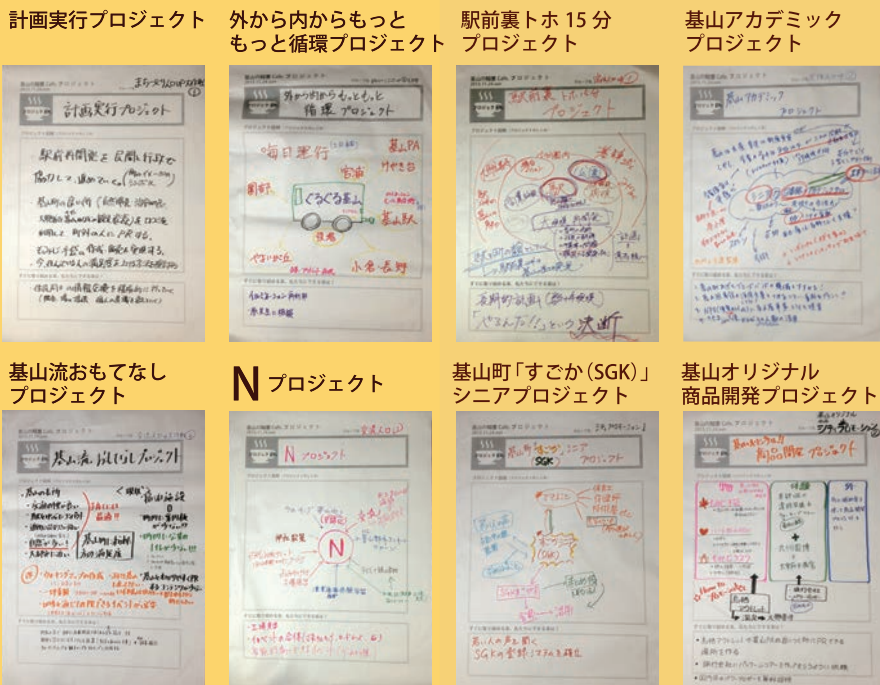
File
003

基山町の新しい未来へ向け
プロジェクトを具体化するには！？
知恵をしばってプレゼン発表を行いました！

時間が経つにつれ、グループ内の結束はどんどん高まりました。プロジェクト発表では、熱のこもった内容に、会場から拍手や歓声が生まれるなど大盛況でした。

基山を

会場のようす



いよいよ、次回は最終回です！

予約受け付け中！
詳しくはHPを
ご覧ください！

最終回

第4回

基山町をどんなまちにしていこう？
基山町を近隣にどう売り込む？

平成25年12月3日(火)

18:00～ 2時間程度

基山町民会館(小ホール)にて

※当日飛び込みもOKです！

皆さんお誘い合わせ
のうえ、ぜひ参加を
お願いします！



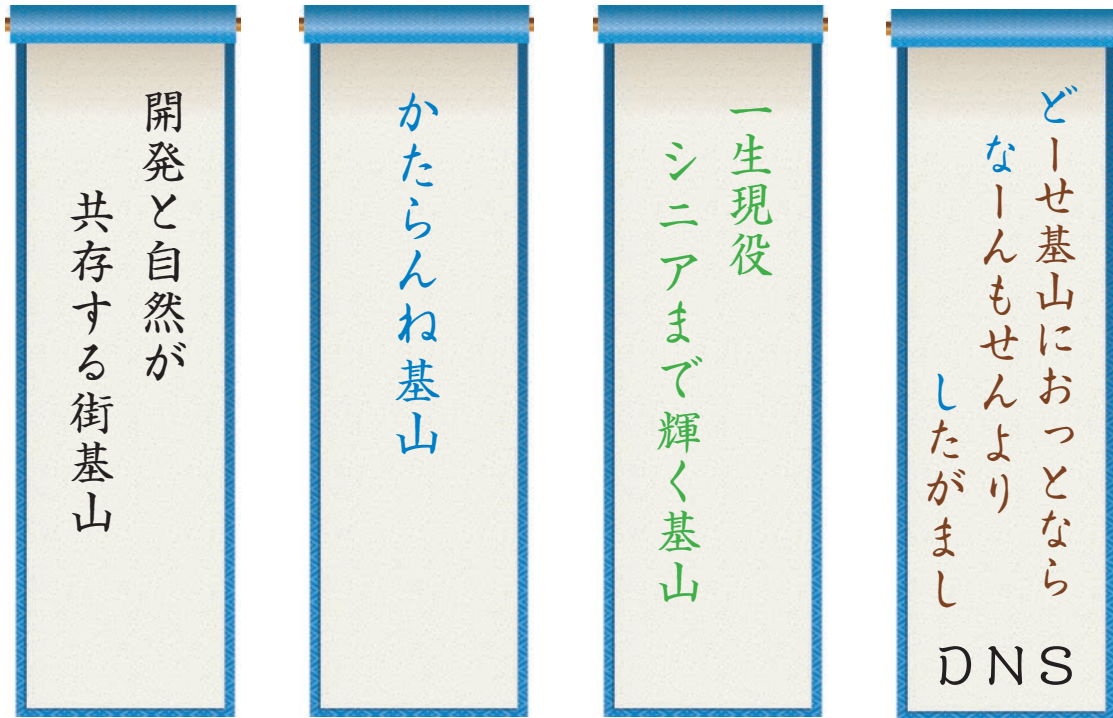
基山の知恵 Café. 第4回

平成25年12月3日(火) 18:00~20:00
基山町民会館 小ホール 参加者〇名

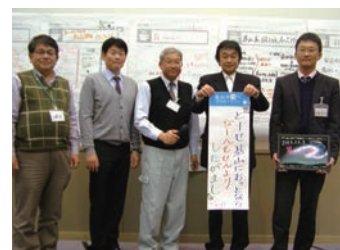
テーマ

未来の「きやま」をどんなまちにするのか、町外へ向けての視点、
町内へ向けての視点でシティープロモーションコピーを考えてください。

基山の **内** へ プロモーション



町内へ向けて心を合わせることはとしては、穏やかではありますが、ともに、みんなで前進しようとする姿勢と基山町への愛着を感じるものが多い結果となりました。



「基山オリジナル!!商品開発プロジェクト」

【新規プロジェクト】

Q 大興善寺や契山を活かした基山ならではの目玉商品をつくろう

参考資料

基山の知恵 Cafe. プロジェクト
2013.11.24.sun

基山オリジナル
商品
グループ
シティプロモーション②

プロジェクト名
基山オリジナル!!
商品開発プロジェクト

プロジェクト図解 (プロジェクトのしくみ)

物	体験	外
<p>買いたい商品 おもしろい商品 売りたい商品</p> <p>もみじ手袋 ・恋人ペア→出産したカップルには 赤ちゃんミトン!</p> <p>♥️ ハート形の何か ・お守り ・アクセサリー (神社の作法とコラボ) エッセンス、ヘア</p> <p>もみじラスク ・柿と抹茶・竹炭 ・8枚入 (600円)</p>	<p>基肄城で 遠征隊を 再現するツアー ・体験型商品</p> <p>+</p> <p>九州国博 と 太宰府天満宮</p>	<p>町の補助金と 使って商品開発 プロジェクトを 行う</p>

How to プロモーション

鳥栖
アクトレット
↓ 温泉 → 大興善寺

・旅行会社
・パワーブロガー
(国内外的)

すぐに取り組める事、私たちにできる事は?

- ・鳥栖アクトレットや基山PAの目につく所にPRできる場所を作る
- ・旅行会社にパッケージツアーを作ってもらうように依頼
- ・国内外的のパワーブロガーを無料招待

プロジェクトの概要

モノ、体験、外の力で基山ならではの商品づくり

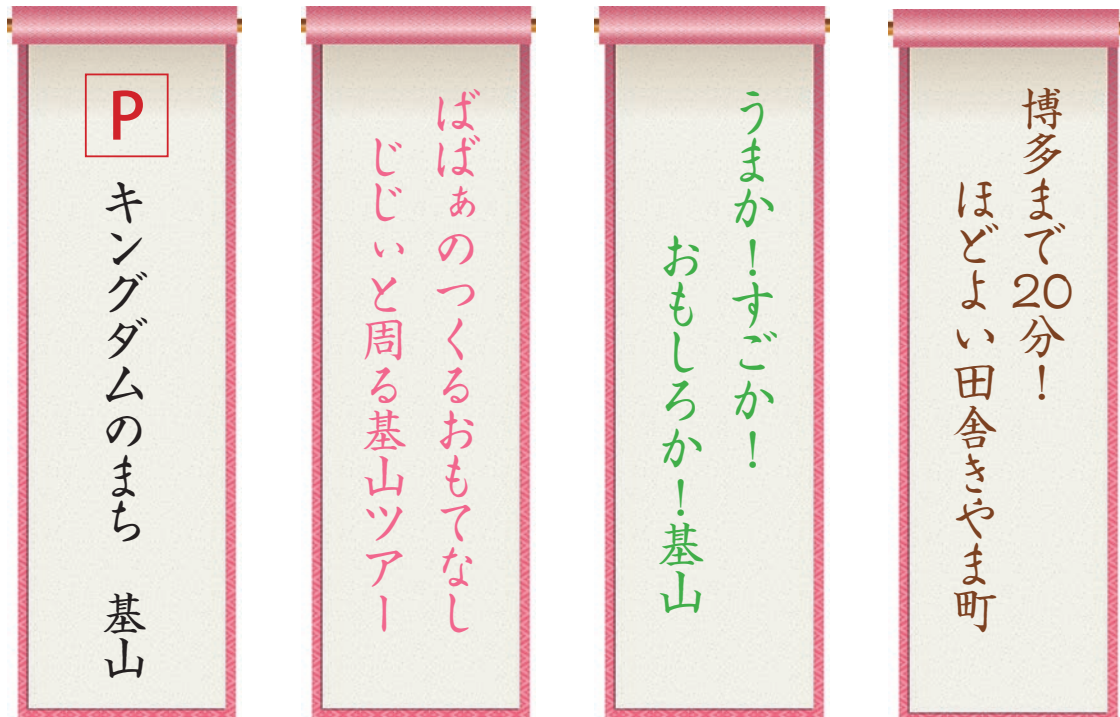
- もみじ手袋⇒恋人ペア⇒赤ちゃんのミトンまでのストーリー展開
- 企業とコラボレーションしたハート型商品
地域の食材を利用したもみじラスク
- 九州国博と太宰府天満宮
ターゲット者を基肄城ツアーへ

ポイント

女性の視点を大事に。民間力を加え、パッケージで価値を高める。お金が落ちるしくみに重要な視点。



基山の 外へ プロモーション



町外へ向けて発信したい項目としては、「基山PA」、「キングダム」、「あたたかいシニアのみち」、「おもてなし」、「基山ツアー」、「感動体験」、「好立地」、「ほどよい田舎」がセレクトされ、ユーモアのあるコピーとなりました。



ワークショップ総評

●シティブロモーションの必要性。

PR、発信力が多いテーマにおいて課題となった基山町。シティブロモーションによって他のまちとの違いを明確にし、存在価値を高める必要があります。それは、住む町、住む人、企業の価値を高め、定住人口・交流人口・まちづくり人口を増大させる効果が期待できます。

基山町においては、町外のみにとどまらず、町内においても新たに結束を図るプロモーションが必要です。



●住む人にとっても訪れる人にとっても満足度の高いまちが望まれています。

基山に住む人自身がまちの良さを再認識し、誇りある暮らしを求めています。「町」だからこそできる決め細やかな行政サービスや選択肢のある人生、あたたかい地域の絆など、住民が実感として感じることのできる満足度を追求できるまちが望まれています。また、多くの人が行き交うマーケットを最大限に活用するためには、訪れた人にとって満足できるまちであることも重要です。



●基山町のキーマンはキャリア層です。

ワークショップに最も意欲的に参加した世代は、キャリア層(シニア層)です。基山町には、昔ながらの歴史や文化を継承し、多くの知恵や経験を持った方が非常に多くいらっしゃいます。しかしながら新旧住民の交流は課題のひとつです。まちの未来は、新しい若い人たちがつくるものではありません。最も基山愛と人生のゆとりを持つキャリア層にこそ、表に出てまちを動かし、3世代の素晴らしさを伝え、若者を奮い立たせる役割を担っていただくことが重要です。それが、必ず基山町にしかできないまちづくりを生みだします。



●継続性、発展性、実行性を求めています。

町民も、職員も、新しく挑戦できること、「変化」を求め、基山町の可能性を信じています。継続したワークショップの展開を求める声も増え、ここで話したことを具体的に進めたい、そこに関わりたい、まちを動かしたいという気運の高まりが強く感じられました。ともに力をあわせられる求心力のある将来像が必要です。また、声が届き、実行される喜びを形にする必要があります。ここで出たプロジェクトが何らかの形で計画に反映されていることが見える計画書とすることは極めて重要です。



2013.12.3(tue)
World Cafe
「基山の知恵 Cafe.」
18：00～20：00
基山町民会館 小ホール
参加者／60名

No. 4 NEWS LETTER



第4回は最終回！
たくさんのご意見
ありがとうございました。

File
001

基山町総合計画へ向けてのワークショップ 第4回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました！

平成 25 年 12 月 3 日（火）、18：00～20：00 の約 2 時間、第 4 回『基山の知恵 Cafe.』を開催しました。今回がワークショップ最終回。はじめて参加された方から、4 回全て参加いただいた方まで様々でしたが、わたしたちの基山町への想いをひとつに団結の最終回とすることができました。



動かそう。

File
002

最終回は。。。 基山町のシティプロモーション！について知恵をしぼりました。

これから、基山町をどのようなまちとして外へ PR していくのか、外からどのようなまちと認識してもらうか、という外へ向けたシティプロモーションと同時に、これからの総合計画を実行していくために、基山町民がどのようなことばで心をあわせていくかという内へむけたシティプロモーションを考え、発表を行いました。また、最後に良かった内容に参加者で投票を行いました。



基山を

どの基山町が魅力的？
投票を行いました。

町内へのプロモーション



9票



5票



25票



28票

町外へのプロモーション



57票



18票



23票



24票

これまでの知恵を生かした総合計画の構想案を策定していきます

まだまだ参加をお願いします
これからの流れ



- プロジェクト会議 **行政職員**
- ▼
- 審議会 **町民（公募）+ 学識経験者**
- ▼
- 3月 **パブリックコメント**
- HPに基本構想案が掲載され
住民の皆さんのご意見をいただきます

これまでのワークショップの様子や総合計画の進捗状況は、町のHPに掲載しています。これからも是非参加をお願いします。

参考資料

5年後、10年後の基山町は…

1. 自然 + idea

項目	指標名	現状(H26)	5年後(H32)	10年後(H37)
1 土地利用	新たな人口を呼び込むための土地活用への取組(満足度指数)	35.4%	40%	50%
2 まちなみ環境	自然環境を守るための循環型社会への取組(満足度指数)	65.3%	70%	80%
3 集客拠点整備	基山駅など魅力的な集客拠点づくりへの取組(満足度指数)	35.5%	40%	50%
4 交通基盤整備	交通手段の整備など利便性向上への取組(満足度指数)	60.4%	70%	80%

2. 教育 + idea

項目	指標名	現状(H26)	5年後(H32)	10年後(H37)
1 学校教育	基礎学力向上や地域などが協力する学校教育への取組(満足度指数)	54.3%	60%	70%
2 基山式まなび	図書館入館者数(貸出延べ人数)	24,256人	60,000人	70,000人
3 スポーツ	町民がスポーツを楽しめるようなイベントを増やす取組(満足度指数)	62.8%	70%	80%
4 文化財の利活用	文化財の保護・継承への取組(満足度指数)	64.0%	70%	80%

3. にぎわい + idea

項目	指標名	現状(H26)	5年後(H32)	10年後(H37)
1 農林業	農産物ブランド化などによる収益性の高い農林業への取組(満足度指数)	35.0%	40%	50%
2 工業	企業用地など情報登録件数	—	5件	10件
3 商業	中心商店街における空き店舗数	21件	15件	10件
4 観光	地域資源の情報発信(シティプロモーション)への取組(満足度指数)	31.9%	40%	50%
5 基山発	ホームページへのアクセス件数	217,963件	250,000件	300,000件

4. 安心安全 + idea

項目	指標名	現状(H26)	5年後(H32)	10年後(H37)
1 子育て支援	誰もが安心して子どもを産み育てる環境への取組(満足度指数)	49.4%	55%	60%
2 高齢者支援	地域包括支援センターの相談件数	1,484件	2,000件	2,500件
3 障がい者(児)支援	一人ひとりに合った福祉サービスの提供や地域の理解促進への取組(満足度指数)	43.7%	50%	60%
4 健康・医療	健康づくりの強化や地域医療体制の充実への取組(満足度指数)	59.1%	65%	70%
5 防犯・防災	消防団員数	188人	197人	197人

5. 協働 + idea

項目	指標名	現状(H26)	5年後(H32)	10年後(H37)
1 まちの結束	隣近所と付き合いがあると回答した割合	65.7%	70%	75%
2 人権・男女共同参画	町民一人ひとりの人権意識の向上への取組(満足度指数)	48.3%	55%	60%
3 情報公開	広報等町民の立場に立った情報提供への取組(満足度指数)	63.4%	70%	80%
4 行財政	住民ニーズに対応した行財政運営による町民満足度向上への取組(満足度指数)	42.6%	50%	60%



数値にすることで、まちの具体的な目標がわかるね

第5次基山町総合計画

- 編集・発行 基山町総務企画課 平成28年3月
- 所在地 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666番地
- TEL(総務企画課) 0942-92-2188
- ホームページ <http://www.town.kiyama.lg.jp>

